の折枝御かさもんなきん龍之

一桂宮様より御歳暮の御祝ましまさい一箱上る〳〵

一后宮様よりこなく御一荷御肴一折御なら三十ゆひ三種二荷御内〻御小衛立一箱御まな一折上る〳〵海邊の御間ニてせんし様には御對面成こんぬふもニて天もれ給ふ申口ニて御祝酒引下されそへ使えも御引下されれ

一御歳暮の御祝きぬら一折つゝ油小路様なきさふ様大進為より進上大宮様え大すき様初より御歳暮れ御祝き御なみニて申入れ

一内侍所より大としの御くはゑる夕かさ大歳ニて清もらひくし言上御見かさニて有大ぬを上る常御所ニて内侍様御請取御清もらひ有御くしの御湯御行水有御三間にて當番弁事始御對面成御祝儀申入る〳〵常御所ニてこんぬふもにて御盃一獻ゑる女中衆卄御通り有御年の物なしもなひら長橋様へ御清からるれ帥典侍様遊しれ御惣しん御まて被遊もくに右京大夫え渡さるゝ

一こよひ請取大すき様帥典侍様長橋様にも為前大御乳より上る

一明春の御くゐしの書附あるゝ渡ス

一后宮様え大すき様初御歳暮に系る大すき様御初御局え御歳暮に系る申口ニて大すき様初御重さかなニて御盃御通り有何事〳〵御かはる〳〵とめて度〳〵御れ於つかさのめて度〳〵〳〵

明治二巳年

七月より
十二月中

心おほえ

甫子

七月朔日

一日ふく卯刻

八月廿九日

一東京ゟ后宮為東京え行啓の御事仰出る

九月四日

一伊勢両宮正遷宮之事

十月五日

一后宮為東京え御出輿之事

同月廿四日

一后宮為東京え御着輿之事

十一月九日

一東京ゟ御ある事頭ニ仰付候名を御茶と下されい

十二月七日八日

一撫物御引かへ

同十九日

一御神樂之事

同廿二日

一御もゝてふれ

同廿三日

一女中知行御藏米ニて拜領之事

七月朔日折ゝ雨

一卯刻日ゑく卯六刻ニおもる

一朝御盃御設計朝ら遊る御沙汰無御夕御膳御座へ出る

一大宮様后宮様へ今日れ御きぬハ御取らぬも御沙汰無　大宮様へ御みニて御むうき仰参る新大納言様初ゟも多ふの御むうま申入れ

一后宮様へ御禮ニ参る東京へ明日の御使(便カ)り出る御斉み計之　末のしゆよ梨事今日薄清ニ成申され上ゝるゝ御祝戴のされ夕方御盃御設計之

二日も遊

一東京ゟ御使ゞり着御み計也長橋様ゟ新大納言様三位御局様　前大御乳はふしもはくり御らむさし色ゝ下されれ延丸為ゟ右同人へ海苔一もこつゝ下されれ大すき様ゟ前大御乳は硝子のすゝ遊三枚下されれ

一新大納言様初ゑう御ハ三十本釆女もしめゟ到來　三位局様ゑうちハ十本上の～

一東京ゟ后宮様え御越後の地染り一反御好さまえ御白地からすり一反参る
桂宮さまえ今年より御越後二反参る靜寛院宮様え同斷今日
一大宮さまえも御越後二反ぶんさられ新大納言さま初御越後御廻しにて戴候
此程ゟ末のしゆ御無人にて
知定
御頼成先〻昨日よ梨清く上られゆへ桂宮えさま知定御返しに成候宮さまえ
御言傳ふ一寸〳〵御まいらせ参る
知定に
御さらし一疋金五百疋下され候是ハ六月三日ゟ御頼に成候
一藤大納言さまおとひより御所勢御心よく今日御心祝にて
新大納言さま三位御局さまもし見えこわく御一重宛参る御まいらせ三種新大納言
さま初ゟめて度御進上
前大御乳に

こわく御一重御肴料三百疋御所勢れ御時分何らと〳〵御さた話申入候と
て下さる〻めて度これ二尾上候

三日晴

一垂仁天皇様千八百年御忌に付御院御庭にて御祭りあふさられ　勅使清
閑寺中納言殿参向にて御ゆる〳〵と済せられ御事御表より言上有靜寛
院宮さまゟ御今参さま御見えくわきん水下され候

四日もよ

一今日右衛門さま御参り御認御間物御くわし出る御ミやふ桃おし下され候
一大宮さまえおそりあゆ奥の御文にて西瓜五ッ是ハ一寸〳〵前大御乳より
おみにてあきる
一后宮さまえおそりあゆ西瓜五ッ御留主さま中ゆへ末のしゆにて前大御乳の
口上にて参る例年西瓜三ッおらふ當年ハとのおらく〳〵ちれさく候ゆへ
五ッに致候てあきる

一両宮様えも西瓜五ツ　前大御乳の方みにてなきる

　五日雨

一両宮様えおやりなゆ参る

蓮観院様　観賞院様えもおやりなゆ下されし

　六日天き

一れおりの社惣代より乙事成御花三把きん上松尾社より御法ゝ花二筒きん上此御もお明日のふ一筒殘し置跡ハ御くもり也

一東京え明日の御使り出る御多計也

　七日天き

一朝御さらつさま御設計朝らきゐ御沙汰無御夕御膳御座え出る

一大宮様え事ふのめて度さ御方みにて仰参る新大納言様初ゟ御祝き申入れ后宮様えも御禮ニ参りれ静寛院宮様え御きうさま申入れ

一桂宮様ハ今日ハ御日柄ニて明日御祝さま申入れ大宮様后宮様両宮様え事ふの御祝儀ハ御方み計と東京より仰参る御梶の御硯もなふセ九に

大宮様后宮様えもきんを九ぬ

一今日きんをの〳〵御ちの和も御沙汰無御く和し

　むさし野

一弁事一人内番ゟ七人え御く和し出る

　植木屋　宇衞門

一御もお一筒きん上夕らさ七夕待御備へニ上る例之御通り也

一こよひの御盃御設計　御三こん

一大宮様后宮様え小預りより廻しれ

八日くも

一来ル十日山陵御水向ニ付富小路殿梅園殿丹波殿下り〳〵ニ付御無人ニ成
宮内卿宮殿御頼ニて今日ゟ御参り御ミやに桃下さる丶

一桂宮殿方新大納言殿前大御乳
金三百疋つゝ中元の御志うた下さる丶
貳百疋　越後殿へ下さる丶

九日晴夕方夕立

一今日富小路殿梅園殿丹波殿御れとは也中元の御志うきあら〳〵御頼ニ
附金三百疋細染らるひふ一ツゝ御蔵あそ之應修院殿

一后宮殿へなら〳〵御頼ニ成レニ附中元の御祝き御沙汰し一疋
金五百疋御蔵あそ之

一大宮殿后宮殿より中元の御志うた新大納言殿三位御局殿前大御乳に
金五百疋つゝ下され丶

一后宮殿方三位御局殿へ別段ニ何らと〳〵御を話御申入ニて御さたし一
疋下さる丶

一大宮殿方御両頭殿大御乳人へ
五百疋つゝ　三百疋大和とのへ
東京へ御廻しニ成レるう申参る十二日の御使りふ出る

一明日山陵御水向ニ附三位御局殿御代参ニ御参り河内殿も参り〳〵三位御
局殿へ金三百疋河内殿へ二百疋下されれそん山に御水向ニ附

一仁孝天皇様へ金百疋宛
新大納言殿　越後殿
前大納言殿　れそ殿方
御花中一筒御備へ也

一孝明天皇様に御備へ金百疋宛

一御榊大一筒

新大納言とのへ与ゟ
藤大納言との　越後ゟ
大すけとの　能登ゟ
権中納言すけとの　大御乳人
藤宰相との　河内ゟ
長橋との　前大御乳ゟ

一金二百疋御榊中筒
三位御局とのより御備へ
一金百疋宛御榊中筒
御たちとの宮内卿とのより御頼ニて
御一所ニこしらへ御備へニ参る
一仁孝天皇様
一孝明天皇様ゑんの御供養料金二両霊らんしの宮とのへ参る御預りの御残

金ニて
一金百疋宛　新大納言とのへ与ゟ
前大御乳
一〃五十疋つゝ
越後ゟ
わかさゟ方
一〃貳百疋　三位御局とのより右
ゑんの御たらゐ料ニ霊らんしの宮とのへ御たき申ば是ハ
一孝明天皇様計也
十日ても
一今日せん山へ御水向参らせ〳〵例之御通り
一孝明天皇様ニ
御榊大一筒御色花一筒
御位もへとのへ御色もの一筒

一仁孝天皇様
光格天皇様
新清和院様　右御色花大一筒ツヽ
新朔平門院様
一四條院様え　御色花中二筒
一新待賢門院様え御色花中一筒
妙荘厳院宮様え御色花中一筒
一此御跡ハミ記し〳〵御呈梨花ニて御備への御くはし御心ざしも有御代参
三位御局様河内ゟも参り〳〵御出門せふの半刻ころ之
一大宮様后宮様え　おへ嶋中納言ゟ
一今うちわ　三十本つゝ
献上致さく弁事久世ゟ御伝きんニて宮中え上る御伝へニ成ル

一九条入道様近衛前左府様に御領所のむせりはゆ〳〵
一中務卿宮様えむとりあゆ〳〵
一十一日晴
一今朝三位御局様河内ゟ上る〳〵
一今日御先て度事ニ付后宮様ゟさもし一折上〳〵御使植松様こしまた
ニて御参り御留主様中ゆへ行啓ハはふせ候　宮中より御涼し二反
御さき帯一筋十石の御手形御うす地御はふま〳〵所東京より御かみ
れまさ着致不申先〻御見合ニ相成ル
一大宮様えも同断〳〵所御見合也
一大宮様ゟさもし廿さし一折上〳〵
一大宮様えさもし一折五さしつゝ中元の御ゐうきよ新大納言様前大御乳
人様きル御返し其まゝ下されル

一后宮様へ同断なから御返し其まゝ下され候両宮様へ中元の御こうまさもし一折つゝ新中納言様前大御乳なから御返し其まゝ下され候

一藤大納言様へさもし五さし御戴りき申候両宮様へ今日のこんをし物も御見合ニ成候東京は新大納言様藤大納言様より盃の御祝儀御ミ計ニて御申入之さもしハ御きん上無東京は御使り出る典侍様内侍様のおとへ衣御廻し申入候御匂ひ多く候廿上る桂宮様より上〳〵なれとも御廻し申候奥ゟ御書物御廻しニ成候

一こよひの御盃七献御設計

一大宮様后宮様へ七こんの御献小預りゟ廻し候

一后宮様へこよひ小預りゟ廻し候御盃の御献ハ三こんニて

一献ゑふゑう　二献そろみのしもみ三献ゑきも也　大宮様ハ御ゑゝ様ニゐなふせ〳〵ゆへ七献こんを〳〵

一后宮様ハ御三献是ハ御先例之御やう子ニ承り候

一中務卿宮様へ中元の御こうき半金一枚御さふし二疋さもし一折外ニ金二千疋さもし一折是ハ御歌道ニ附〳〵御内々の御ミ也

一當ゑんハ近衛様へ伊ゝミ酒肴御挨拶ハ乃法〳〵御見合ニ成〳〵掛の人々も下され無

十二日　てき

一東京ゟ御使り御多み計也

一静寛院宮様より中元の御こうき金三百疋つゝ新大納言様前大御乳へ下さるゝ

十三日

一今日御表綾小路為御手ゑふれ御拝見ニ付御さふし壹疋金千疋

一御手ゑふれ御本八條為上〳〵ニ附御はんし二疋金千疋下され候此御さふしハ口向より上る玉松大夫為御本上〳〵ニ附御さふし一疋金千疋下

され候高野少将様事御出輦まて御細御用に附金十両下され候高辻様ハ
東京にて給り候由之
此外何も〳〵御表えハ御祝儀ハ出不申
一金千疋　五両御すくひ新大納言様
一同断藤大納言様金二千疋廿両三位御局様外に御乳附に附二千疋五百疋
是ハ口向より上る
一千疋宛新内侍様御初御祝き外に千疋つゝ越後様能登様
一銀五百目代　河内様　前大御乳に
一金三百疋宛　ゐあゝ始
一同七百疋　茶ゐ
一金貳百疋つゝ　御やとひ子とも四人
同断　ゐつらさ両人
同断　仲居四人

一三歩三朱御切米　同人に
一五百疋御祝き　大瀧に
三両御すくひ
一三百疋御祝き　わさり
二両御もくひ
口向え取次もしめ例え通り出る伺えれしの所ハ当盆より御表弁事にて
御祝き下され候由筆頭始御表にて金五拾両つゝ外に二十両弁当料に下
され候御内儀え御禮申入有
一申刻ころ三位御局様御さしつかへにて御下り也
十四日晴
一三位御局様昨日一日れ御引籠にて今日御清く午刻過めて度御上り之十
四日本んにて宮中えさもし一折五御きん上大宮様えもさもし一折五御
進上后宮様え三位御局様御もしめ御禮ふ御参り御對面計申口にて御祝

御祝酒御戴候之御重肴ニて御盃ハ御留主様中ゆへ下され無
一宮中え后宮様の両親のかさ〳〵御禮ふ御参り御留主様中ニて御口祝計
之
御表も昨年の御通り何事〳〵出不申三位御局様御始ゟ心ゐ不ろ御かへ
の露おもふい申候三位御局様御もしめより今日御きん上の御挑燈七も
り此御品此本と東京え御廻しニ成候
一大宮様后宮様え御み附御挑燈十張外ニきぬ五もりつゝまいらせ候
一両宮様え御文附添挑燈五もりつゝ外ニきぬ二もりつゝまいらせ候
一宮中の三十張ハ東京え此間御廻し申入候今日御祝奥え出る御膳ハ両御
もんニて出る后宮様え三位御局様ゟさもし一折五御進上
大宮様后宮様ゟ其まゝの御返候
一今晩御挑燈ハ大紅白二十張つゝきぬ五もりめて度両親の方ゝおと本し
也御まり子ハ御沙ゝ無

一弁事久世様ゟ伺のれし御祝き御内きより下され候ニハおよひ申さ候と
申入候へとも相かもふに御内ゝニて下され候やう請ニ附廿両ハ下され
候ニハ不及親康の御薬代十五両御さすりの御本う分御内儀ゟ戴候やう
申入まいらせ右ニ附御さたし一疋つゝ御祝儀
金六百疋つゝ今日戴かせ候

十五日もち

一朝御盃御設計御白くう出る御夕御膳御おち高ニて御座え出る御祝も出
る
一后宮様よりも次の御膳御そへ肴二種一荷上まいらせ候
一大宮様えも次の御膳御そへさかな二種一荷まいらせ候御おみ宮中ニて認候
やう東京より仰参り候ゆへ御物書認参る二種一荷ハ立目録有
一后宮様え同断まいらせ候御使ゟ新内侍様すゝしうふ御袴ニて御對面成申口
ニて御祝御祝酒出る二種一荷ハ立目録添使小大夫参る

一未刻ころ后宮様より御きん上家も次の御膳花鳥の御間御座へ出る御こ
んなはも御設計
一后宮様え新大納言様越後なれ宅な河内な前大御乳御禮よ參る御對面申
口ニ而御祝御祝酒御くじし下されは御重さら殘ニて御盃ハ御留主様ニ
てはふせん候夕らさ御挑燈大二十張きぬ五もりともるこよひ家御盃
ハ御設計大宮様えこよひの御献計ハ表向の御かみニて參る
一后宮様え御こん小預りより廻しは

十六日

一東京え明日の御使り御かみ計出るなら橋様ゟ此本と御到來物の御返し
もあらむさし色ゝ十七本今日の御使りよ新大納言様三位御局様　前大
御乳ゟはきる延丸なえ海苔の御うつりよ御ふくじし同人ゟはきる
一今朝例え通り御挑燈一對つゝ出されは茶は取計也夕らさ大文字ともる
御代もは新大納言様之御挑燈ともる梅園様御參りニて一夜御逗留御ゝ

や桃あし下されはなる後丹波な上ふるゝ夕らさ后宮様ゟ新大納言様初
召されは御本もロニくきもし御一献戴は

十七日折ゝ雨

一東京ニ明日の御使り出る

十八日先もよ

一今日御霊社御出祭りニ附朔平御門よ御覧所出來申刻御代拜新大納言様
御つと先遊しは后宮様ハ御月水の御湯は本もしら御もれはふせん
にめて度御一献下されは所早ちの御時分ニて御廻しニ成はらさ新大納
言様御願ニ而御鉢肴三御は津物一ッ御くじし御廻しニて戴は

廿九日晴

一東京より御うにし御はふま
大宮様御初様新大納言様御もしめ油小路様御初宣旨様始御廻し御みも
參る大宮様え御廻しニ成御使取次

一后宮様えハ小大夫ニて御廻しニ成候
新大納言様初うたし御はふき戴候
一大宮様御いしめ今年ハみな〳〵御即位の所也
廿日はる後くもり
一八さくニ附（御脱カ）所向きん上物御座候や久世様え御たつね申入候所當朔ハ御留主様候ゆへ堂上初きん上物無もい人よりも献物無御内儀ハ例之通りきん上物致候ちもつのかさ〳〵よりも献上有富小路様御所勞御よろしく今朝より御参り也
廿一日くもり
一東京え明日御使（マヽ）り御めみ汁出る藤宰相様より様え御返事致候
一大すけ様え花かむさし五本上る新すけ様え花かんさし三本前大御乳よりはき申候
廿二日くもり

一東京え御使（マヽ）り出る
廿三日夕方雨
一となし
廿四日雨
一今日夕かた宮内卿様御暇ニ附はかり地の御附帯一筋御兒の御人形一ツ御戴かきニ成候
廿五日くもり
一山陵御代参三位御局様御参りニて御榊上る御備への御くゐし有外様えハ御参り無御位もれ様え御参りニてすくにかへり御参り御局ニて御清めニて奥え御出し之三仲（間脱カ）しゆも同斷之
廿六日雨
一東京え明日の御使（マヽ）り出る御み汁也權中納言すけ様　權すき（さカ）様え松かき

一もこ上る　采女始え此間の挨拶に花かんさし七本つゝ新大納言様三
位御局様越後為前大御乳ゟおくり申候

廿七日晝後もよ

一東京ゟ十一日十六日出の御使り今日一所に着當月十三日ハよるとの大
風ニて震も度〻御座候由申参る大すき様ゟ御ふき候前大御乳ニおも
ふ候申候ニて丸為より御人形おをふい申候

廿八日もよ

一朝御盃御設計也静寛院宮様え暑中れ御返し参る

廿九日晝後もよ

一御領所のなとりなゆゐの司前内府様ゝ妙らく院様え参る
一なとりなゆ孝順院様妙染院為右衛門様駿河との知光院様弘誓院為え下
されゝ

八月朔日もよ

一朝御盃ハ御設計御夕御膳奥え出る朝ゟもれ御沙汰無
一大宮様え朔日の御いうた御ゑみニて仰参る八さくの御んき〳〵物ハ今
日ハ御こゝろ（こゝろカ）もくれゆへ明日ニ成〳〵
一大宮様ゟ八さくニ附色奉書三ふくする〳〵一折上〳〵御内〻の御品
物ハ東京え御廻しニ成〳〵由也后宮様より色奉書三束する〳〵一折
上〳〵御内〻の御品ハ東京え御廻しニ成〳〵両宮様ゟ金三百疋な
さい一もこつゝ御きん上三位御局様ゟ金三百疋なさい一もこ御献上之
一御内〻御さんし茶の御道具御きん上
一御重二組大すけ様御初大御乳人前大御乳ゟ
きん上　御文もこ二ツ　新大納言御もしめ
伊与為越後為
のせ為より

献上　御あんこ御形らもり
きん上　阿波殿
河内殿
大和とのより
一黒無地一番御文こ一ツゝ　御兒四方より
一引合御組帯杉もふ十帖長橋殿より
きん上　御あさ物二ツ　一ノ釆女より
一御あもこ一　三仲間一同ゟ
一なふもち　二ツ　大瀧江坂ゟ
一同斷　三ツ　岩代初ゟ
一御あさ物　三ツ　順勝始より
一金百疋つゝ油小路殿御初　藤坂ハ無
一同百疋つゝ宣旨殿御初　藤河ハ無

一同斷　蓮觀院殿御初觀實殿様御初
一同斷　孝順院殿御初富小富殿御もしめより
きん上　金三百疋つゝ新大納言殿
藤大納言殿ゟ百疋藤宰相殿ゟ
一大宮殿后宮殿兩宮殿ゑ御ゑうた
金貳百疋つゝ三位御局殿大すき殿御初長橋殿大御乳人　前大御乳ゟ
一同百疋つゝ新内侍殿御今參様　伊与殿初
御兒四らさより進上
一同百疋つゝ新大納言殿藤大納言殿藤宰相殿ゟ進上同斷なを拂殿宮内卿
殿より進上兩宮様ゑハ此二方ハ御祝き御進上無靈らむしの宮殿瑞龍寺
殿圓照寺宮殿より御祝き御献上ゑいち御札申入れ參内殿に
内侍殿なとへ衣ニて御廻り之夕方御盃御設計之
二日雨

一大宮さまへ入らせられ御そうだん仰まゐる御あゐ廿ゆひかの〜所東京よりれま
さ御ゐ着致不申是御見合之御内〻御衝立一そこ御内〻の御ゐにて今日
かの〜

一后宮さまへおら十ゆひ同斷御見合御内〻御紙さ形一そこかの〜御使ハ新
内侍さま御まゐり両宮さまへ御返し
金五百疋つゝまゐる靈らんしの宮さま瑞龍寺さま圓照寺宮さまへ例之御通り御
返しまゐる金五百疋つゝ御返しに
新大納言さま藤大納言さま三位御局さま別段御乳附に付二百疋

一金貳両宛大すけさま御初長橋さま
　　大御乳人前大御乳に

一同壹両二分つゝ新内侍さま御初
　　伊与ゐ越後ゐ
　　れいゐ

一同壹両一歩つゝ　阿波ゐ河内ゐ
　　大和とのへ

一御形り二ゆひつゝ　御兒四らさへ

一金二百疋宛　ゐそ掛さま宮内卿さま
油小路さま御初宣旨さま蓮觀院さま御初觀實院さま御初孝順院さま御初知光院さま
御初富小路さま御初御返しに出る

一金百疋つゝ　一ノ采女
　　三仲間へ
　鳥目一〆文　むつらき

一金百疋つゝ　大瀧　江坂
　　岩代そしめ
　　順勝そしめ

右御返しに下されい

一一条そのは丸さま御内〻后宮さまへ御まゐりにて御硯ふた肴九こん新大納言さま
初へおくらせの〜別段御くもし一そこ新大納言さま三位御局さま前大御乳

に下され候右ニ付毛うへの戌一　御水入一御硯一新大納言殿始より進
上申候外ニ新大納言殿三位御局殿前大御乳ゟ
毛うへのりきり午一御人形壹
御文ちん一對進上申候東京に御使ひ出る

三日はれ

一昨日桂宮殿より御使藤崎参り候此度百官名御もれし二成候〳〵ニ附宮
殿准后をも御もれし二成候〳〵哉と御案事殿ニてあらせ候〳〵新大納言
殿え御尋あらせ候〳〵へとも御内儀ニてハ御わかりかねとて今日久世殿
え御尋申候るうとの御事ニて御尋申入候所准后ハ百官ニてハ御座無候
得共一應久世殿ゟ東京え右之御事伺候と申入候〳〵御内儀よりも御兩頭
殿え宮殿ハ是まての御通りに御願遊し度き思しめし殿の御事仰入候〳〵
御表ゟ御一所ニ御さ出る

四日はれ

一孝きん天皇様千百年御忌ニ附後院御庭ニ而御祭行はれ巳刻過御する〳〵
と濟せ候〳〵御事言上勅使ハ冷泉二位殿之

一明日北野社臨時祭ニ附御撫物一箱御もつ参五百疋奏者所え申出し有

五日はれ

一東京ゟ御使ひ着御長持二さ参

大御乳人ゟ前大御乳に

御あ律〔け脱カ〕之ミ聞〳〵御もこ物也

一北野社今日臨時祭なあら御内きハと聞し

一静寛院宮殿成らせ候〳〵御殿何まく〳〵御名あらせ候御榮御殿トあ参も
しれへもれらゝ哉と東京え御伺ニ成候〳〵所今日東京ゟ御使ひ着ニて
何も〳〵思召あらせ候御と仰参り御表え仰出され静寛院宮殿えも仰
参る夫〳〵え仰出され是より榮御殿ト申入候事三仲間えも申渡ス

一今日橋本二位殿御参りニて月〳〵

仁孝天皇様え御代参遊ばせ候所静寛院宮さまニも何かと〳〵御大ふう
に相成孝順院さま御頼ニ成候へともかゝ哉と御相談遊ばせ候三位御局
さまえ申入候所先〻還幸まての所孝順院さまえ御頼のかた御よろしくと御
返答申入候今日口向より松虫ともゝ虫上る大宮さま后宮さまえ参る
一北野社御祭り御する〳〵と済せ候戌刻戌半刻過御表より言上有
后宮さまえも申入候

六日晴

一東京え明日の御使ゐ御み計出る此間の御長さ本二ツかふニ而大御乳人
え御返し申候

七日雨

一桂宮さまえ松むしすゝ虫ほんせ候

八日も雨

一東京より御使ゐ着御ふみ計也

一后宮さまゟ御留主のかた〳〵え御くもし御乃形下さるゝよし司さまえ御く
もし御肴新大納言さまよりもしやと参る

九日も雨

一大宮さまえ八さく御ほうし御表向の御み此御使ゐとも参り不申候ゆへ宮
中ニて認ほんせ候よう申参る今日御み一字不明金二千五百疋御あと二十
ゆひ取次ニて皆

一大宮さまゟ新大納言さま初え御くもし御茶三ツ本下され候

一后宮さま立后の御時分ニほんせ候御あとへ出來ニ成東京え伺ニ成候所
[illegible]ほんせ〳〵て御よ次しくめて度御袴ニて新内侍さま御使ニてほんせ
候よう仰参る則今日新内侍さま御もかはニて御使ニ御参り

一后宮さまより御礼仰入候御使植松さまニ

一静寛院宮さまえ松虫すゝむし参る

十日も雨

一大宮様へ御庭のあ本（木カ）三ツもし哉と参る
一御留主れうさ〱へ梨五十　まての小路様より参る

十一日雲ふ〱しく

一桂宮様ゟ御つりひもあさた参らせ候賀山の松御くもし下されゝ
一東京へ御すみ計出る大すき様御始ニ御茶二つ本新大納言様もしめより
はきる
一今日東京ゟ中御門様御帰京ニて御内き御静かつ伺大宮様后宮様の御機
嫌伺東京ニて御留主長官仰附参らせ候よしにて御礼申入参らせ候是ゟ御内儀向
大宮様后宮様両宮様の御事御伺ニ成候
新大納言様三位御局様へ御礼御申入前大御乳御面會申候御機嫌御よし
〱様伺候
一あか司様御留主の長官免せ参らせ候其内ハ東京へ召され候由御噺し之大
佛の御あしん三位御局様の御屋敷の御用ら〻りも仰附参らせ候よし御申入
有
一東京にて丸様伊与様へみ出し候

十二日雨晝後晴

一御寺御所より新大納言様もしめへはふ〱はきの御あちん参る此さひ小
上﨟上参らせ候らつしたま仰附参らせ候御例も御座候ゆへ御参り御願ニて來ル
十六日御参りのはうニと申参る

十三日晴午比ゟ夕立雷ニて

一午刻比ゟ夕立雷よ本と〱まひしく大宮様両宮様へ御機嫌伺の御み出
る
一后宮様へハ新内侍様御参り先〱とあさ様も御動し様はふせ候たと
伺候
一東京ゟ御使り着御ほりさゝふし百疋御手ぬくひさゝえし五十疋申参る御

表え仰出され候久世殿え申出候前大御乳也
一今日御表ニて鷹司従一位殿御留守長官被免を候事中御門殿正二位殿
御留守長官被仰付候事　烏丸殿
御留守次官被免を候事　慈野正四位
辨官被免候事　山本正四位
御表より言上是よりハ辨事とハ申さぬよし辨官と申候事給り候
十四日折々雨
一任皇后大夫　野宮正二位
一任皇后大夫　竹屋従二位
一任皇大后宮亮　正親町正二位
一任皇大后宮亮　堀川正三位

皇后宮長官ノミ二人アリテ皇大后宮次官ノミ二人アリ誤アルベシ　校訂者識

一任皇后宮亮　植松正四位
一任神祇權大祐今日御表ニて仰附候由言上有是よりハ御を話卿御まも入ハ被ふを候大夫亮之人々御用御勤のよし也
十五日先もを
一名月ニ附例之通り伊与殿より被乃九こん献上大宮殿えあ乃九こん進上御物書の方みうハ包有油小路殿御始えも上ふるゝうハ包ニ認來る文もこハ丸みもこえ之
一后宮殿えも同斷きん上伊与殿供奉中ニて前大御乳の口上ニあ越前殿まて末の衆ニて上り候宣旨殿御初え來る
一兩宮殿え被乃九こん上ふる御物書のみニて
一御留主殿あゐふ大すき殿初えも來る
一今日中御門殿より妙染院殿事此度大佛の御用屋敷え引移り候事桂宮殿折々御用被ふせ候節ハ御尋被ふを候遠方ニ成候へも氣毒ニ思召候

ゆへ引移りハめんを候様御願之事東京に伺ひへも御願の御通り免を
候るう仰出されれと申入候則桂宮様え此よし仰候當春御年玉
ニ三尺計宏御屏風一双御願ニ成候今日出來ニて早〻なんを候后
宮様御表のらさ御手薄ゆへ今晩ゟ二人つゝ宿堂御表より仰附候御事
長官為ゟ申入候
一こよひの御盃御設計

十六日折〻雨

一御寺御所小上﨟ら川しまニ仰附候御礼ニ上﨟様ト御一所ニ御参り御
認御間物御くゐし出る御庭御拜見ニて
一后宮様えも御参り有御暇の御時分ニ御煙草入御人形毛うへの戌上﨟様
え下されれほゝを御紙入一御人形一毛うへのうきた一らつし（き脱カ）様え下さ
れれ御乙ゐま御重之内参る大宮様ゟ油小路様御使ふ御参りニ而新大納
言様初え御重之内参る御一献出る御くゐし出る

一東京え御使り奥よりハ御宏み計出る

十七日晴

一今日東京ゟ御ゐより着新大納言様三位御局様えれと承成御人形一つゝ
前大御乳に藤宰相様ゟ参る
一御引直衣二領御短御直衣二領御緞二枚御表え出され東京え参る
一新大納言様明日御祥忌ニ附申刻比御下り廿五日比まて御願ニて御下り
之

十八日くも

一今日御靈社御祭りニ付上下御靈社に
一金五百疋つゝ使番ニて御代参之
一御留主様あるふ御祝例之御通り御祝御膳まんとん御座え出る
一大宮様えけふの御祝こゐく御一荷御先附御重ニて参る
一后宮様えも同斷参る御使内侍様

一両宮様へ御祝御重にて参る前大御乳のふみにて九条入道様近衛一位様
二條様たか司様へこわく御二重つゝ御内〻の御ふにて参る藤大納言様
へ御祝御重に入参る三位御局様もしめ御祝申口にて戴候申刻比出しや
にて御代拝三位御局様后宮様へ御参り
一后宮様にはじめて度御一こん戴候所御留主様中にて宮中へ御廻し御願に
はじめて度戴候色附の御もん白同断御硯ふた肴御鉢肴三ツ御吸物一ツ御
すゝ一對御くみし御廻し之こよひの御盃御設にて
一御表辨官御もしめ御重に入出る非蔵人に御鉢ふすもし御肴御ふしめ附
合候て出る
一霊らんしの宮様今日御里坊成らせられ御事承り三位御局様越後為前大
御乳人水をんまき七把進上申候
十九日先もを
一桂宮様ゟ新大納言様初へ御よも肴三種下さるゝ

廿日先もを
一新大納言様へ御下り中御見舞ゟ三位御局様始より御肴三種参る
廿一日もを
一東京へ明日の御使り御ふみ汁出る
有栖川宮様より東京へ御献上の御箱物参る御馬場に出來かゝりゟ朩（木カ）御
おくさみ御廻し申入候
一くふ海の御代参阿波為之御札らふらおきん上
廿二日夕より雨
一近衛様ゟ東京へ参り候御箱物御頼に成御内きよりハ出候御跡にて御表
よりれ御使りに出し候
一静寛院宮様ゟ柿下さるゝ
廿三日先晴
一今日あを柿様御参りにて新大納言様初ふたふ御ミやゟおもふ候申候今

一日

后宮様へも御参りニて梨進上御認御間物御くゝし出る中将門様東京ゟ

一御帰京ニ付御土産ニとて半切煙草ゐしほりの切江戸絵越後様能登様前

大御乳へおをふい申候

一山陵御代参御表へ仰出され候前大御乳まとしの御代参札上る

廿四日雨

一后宮様今日福井河原立合ニて御まゆう上ゆへ七日の御間御参りなふを

れに御するく〳〵と済をゆへ御動し様もなふをれにといし両人ゟ申

入ゆへ修らく院御山の松茸を上る蓮観院様へ参る

一富小路様明日土陵へ御拝参ニ附夕方御暇之梅園様御らもりに御参り之

廿五日雨

一山陵御代参御表方御榊くうしゆへ

一午刻比梅園様御参り中将門様へ御杉折ニて御文まん小くふ野此間の御

挨拶ニ越後様能登様前大御乳ゟ進上申候

廿六日もを

一東京へ明日の御使り奥ゟハ御み汁大御乳人候与様へ蛮み汁出し候

一此度中山様御家内東京へ九月中旬ニ御引越ニ成外なふぬ御らさ〳〵ニて

一きんかふの小袖おなれ様へ同断蛮り袖小袖おゐに様へ前大御乳心にニ

て御戴かを申候前大御乳ゟ黒繻子縫のおひ一縫取煙草入一もれ〳〵の

人形一袖入一ッさんくのもこ一ッおあれ様へ進上申候

一非板〆のおひ一をいくのもこ一もあのこ体二もれ〳〵二ッおゐに様へ

進上申候

一静寛院宮様へ此本（と脱カ）の御うつりに水をんまた五巳女中衆よりなきる

廿七日もを

一近衛れ蛮君様此度つゐるに成ふせゆへニ付后宮様へ今日御れとはニ御

内々御参り良稚院様も御一所ニ御参り宮中御留主様なゐら御庭御拝見

御願遊し御馬場御内儀の御庭御表の御庭共御拝見也聴雪御茶[や脱カ]にて一寸
〳〵御茶御くわし出る今日の御ミやにとて
一良雅院殿ゟ新大納言殿初え御重之内九こん一樽參るれ多君殿より御肴
五種參る良雅院殿え小文匣の内に金地御角取御紙入一組御まゐる一本
御人形一ッ玉にれしの御文ちん一新大納言殿もしめより進上申候れ多
君殿え一番御文匣之内よなしほり一疋御人形五ッ花の御とき一本御袖
入二平うち御らむさし一本新大納言殿三位御局殿大すき殿藤宰相殿越
後殿能登殿前大御乳ゟ御馴染ゆへ進上申候あは君殿も御參り小文匣之
内よ三ッ折御紙入一ッ硯一御水入一進上申候御庭より夕ゟ后宮殿え
御らへり遊し候妙染院殿參らるゝ御認御間物御くだし出る
一東京ゟ御使り着權中納言典侍樣權すき殿ゟ御くだし下さるゝ

廿八日なるもを

一朝御盃御設計三位御局殿もしめ后宮殿より召され側にて御もん孜下さ
れゝ二ゟもりに參る御なくさみに差つゟうれ御とめ一本くさり附烟御
煙草入新大納言殿もしめより上る
一良雅院殿ゟ昨日の御礼の御多み參る御庭の御ゆをせふゟうし三位御局
殿え參る一寸〳〵うつりよ御くわし入上る

廿九日雨

一戌刻比東京ゟ御使り着にて
一后宮殿來月中旬東京え行啓仰出され候后宮殿え三位御局殿ゟ御申入に
相成候御請仰入の〳〵御今參殿も東京に召され候附添三仲間壹人と申參
る

九月朔日晝後もを

一朝御盃御設計御夕御膳御座え出る朝ゟせん御沙汰無大宮殿えまふのめ
て度さ御みにて仰參る新大納言殿初ゟ御祝き申入候

一后宮様江御札ニ参る后宮様行啓ニ付大宮様ゟ油小路様御参り大宮様より両御局の内大進ハ藤切(坂カ)の内御附添へにまんをまいらせ候う仰参り候ニ附色〻御申合ニ御参り御間物御認御くわし出る夕ちさ御暇之

こよひの御盃御設計

二日てを

一今日東京江三日限ニ而后宮様東京江行啓の供奉の御人躰御供廻り輿の日をひの色目何ら伺ふ御ゟみ出る御今参様東向ニ附三仲間附に(添カ)への所御留主の三仲間も御無人誰と申事出來らさく色〻と申合候所先〻表使松田八年も定り候人ゆへ松田よ仰附まいらせ候御請申入候御表口向江も申出し候

一大宮様ゟ后宮様東京江行啓ニ附油小路様藤坂御附添へにまんをまいらせ候様仰参る后宮様江此由こなさより申入まいらせ候

一東京ゟ御表江御使り着ニ而昨秋御即位以來海内多難所當年も淫雨濃民

害シ氣毒ニ思召され候ニゟ大藏省に御すくひ仰出され候所昨年も陸羽のせん不ふ海内多難ニ付御物入多とても〳〵思召の御通りに御すくひ出され候御事出來あさくと申入まいらせ候ニ付思召様ニて御三度宛御膳御物數をきんしまいらせ候御朝お湯漬お焼物お汁御まぜお者(煮カ)物御精進お香之物外物御二品御夕御膳

一お焼物お汁御精進お者物御まぜお香之物外物御二品御夜食

一お焼御ちさお者物御精進お香之物外物御精(進脱カ)右之通り東京ニて御治定ニ成まいらせ候御事宮中江仰参宮中ニて御陰の御せん此御物數ニてお式も致候て朝夕の御せん出る扨〳〵恐入候御事と存上候

一后宮様江も申入まいらせ候御表ゟ夫〻仰出され候

四日てを

一内侍所江御表ゟ上納米百五拾俵代金札ニて六百五十四両三歩米(永カ)鳥目二百廿五文壹名ニ附十両三歩永百六十六文右之通り廻り候由ニてきれよ

り申入め〳〵
例之通り此内ニてをれ初戴候てよろしく哉と伺有例之通り戴候やう申
候
一内宮正遷宮時戌刻御留主の女中衆戌刻比御三間の御庭へおり居候
　五日天晴
一今日右衛門様御参り御さやま柿くり下され候御領所の栗上る
一大宮様両宮様え御物書のおみニて栗参る
一后宮様えも同断参る御使新内侍様御参り之豊岡殿の御兒御参り御人形
一毛うへの午御まんちやく御いゐゝりを之東京より御使着宮中ゟ三日
限の御使ひ御表え御頼ニて出る
　六日天晴夜ニ入雨
一東京え明日の御使ひ出る御おみ計也月をれ様ゟ柿参る
　七日天晴

一東京ゟ御使ひ着ニて能登殿河内殿両人の内召され茶くみ壹人下向致候
やう申参る右ニ附河内殿きみ下向仰出され候御請有御表口向えも仰出
され候
一内侍所をいも下向仰参るすくに申渡ス御請有
一大宮様両宮様え御今参様河内殿松田きみも東行の事御礼御吹聴御物書
のみニて出る
一伊勢外宮正遷宮ニ付時戌刻女中衆御三間之御庭え折居候
一后宮様え御機嫌伺ニ御肴二種
新大納言様初より進上申候ゐを拵様ゟ御埜ふに参る
　八日天晴
一當年御菊わた御沙汰無こよひの御盃も出不申
　九日天晴
一朝御盃御設計御夕御膳御祝御座え出る

一大宮様へまふの御祝きハ御取らわし無おみ計也新大納言様初御祝き申入候

両宮様へも同断女中より御志うき申入候

后宮様へ御礼ニ参る御表へ御くわし長官弁官一人つゝ弁官出仕二人宮内省二人内番六人壹人ニ七切つゝ二おゝに致出る

むさし野こんぬ

一大宮様へ御領所の松参る

一后宮様へ同断参る御使新内侍様こよひ御盃御設計

十日晝後雨

一東京ゟ御使り着此度清水谷殿ゟ御歌ゝ六百枚御頼相成候ニ附右之御挨拶ニ御きぬ一疋ゟゝ御紙入一組御筆すゝし一ッ御戴らせ申候

十一日雨

一東京へ明日の御使り御おみ計出る

一清水谷殿ゟ昨日の御礼ニとて見事成御硯おゝさら取参る

十二日はる後くもる

一后宮様此度東京へ行啓ニ附霊らんしの宮様御暇ニ御参りニ付こなたへも御参り遊ふせの〜申口ニて御くわし御茶出る御間物申附置候ともと御心をたニて御暇遊し候ゆへ　后宮様へ御廻し申入候上臈様初へ御間物御くわし后宮様へ廻し申候御ゝやに御重之内参る

一勢州両宮正遷宮ニ附御使勤候者ハ先例御内ゝ金百疋ゟ錫一對御肴被下候例をもつて此度も願候願之通り戴らせ候

十三日くもる

一東京ゟ御使り着　候与殿

大御乳人

御せん一くこ　ゟく殿

大わとのゟ

下されゝ

丹波為

前大御乳え

一后宮様東京え行啓ニ附御板輿御一ツより御さセられ候仰出され候所もと
一や御日数も御座無こされ候御非常の御板輿抔御表より出来んを以候様申入
以候則出来んを以候此御板輿御あく所ニ御さを以候御非常之也此度
女中衆ニ附添へ候使番ちら比ハ羽織袴ニて参り候ゆへ御留主の長官殿
え餘り不都〔合脱カ〕ニて上下ニ致候へもれ而哉と申候へも東京思召様を伺候様
う御申ニ而大宮様后宮様え御伺ニて早々東京え此条との御使りよ御伺
ニ成候所明日の御使りよ御返事参り上下ニ相成候て御さしつかへ御さ
をれ候と仰参る今日長官為え右之由申出候へも早々口向え御申渡し
一ニ成候御内きより御隠居のかさ〳〵ちもつのかさ〳〵え申参る
一大宮様后宮様え仰参る中山為の御家内明日東京え御引越ニ附夕かさより
三位御局様御暇よ御下り之今晩一夜御願ニて

一修らく院山の松上るゑら司様え参るくゟ次御代参新内侍様御札ら参ら
一和上る

十四日天気

一御領所の松たけ上る両宮様え御物書の多ニて参るゑら司従一位様此度
一東京え御東行ニ付御留主様あるゟ新大納言様御取もらふひニて一番高
まきゑへの御文匣之内よ御綸子一反つゝ也御紙入一組御まもる一本銀の
御盃一枚ぬり木御盃一枚出来んを以
一御出う侍う一もこ　新内侍様
御餞別ニ御さされ　三位御局様
藤大納言様
前大御乳
越後為能と為ら
一今日東京より五辻為大原為御帰京ニて御静なつ伺有

十五日晴

一來ル廿三日巳刻桂宮殿午刻東京え行啓遊ふをまいらせ御暇よ御参内仰出され候御表
靜寛院宮殿后宮殿東京え行啓遊ふをまいらせ御暇よ御参内仰出され候御表
え申出る東京ゟ三日限の御使り着當年も亥子御きんしやうハ御沙汰無
と仰参るれを亥ちんハ東京ゟてうえん仰出され候宮中えも上り候へも
例え通りよ大宮殿御初えまいらせやう取計致候様仰参る右え由遊あへ申
渡ス今日上下御靈社北野平野御代参高崎参まいらせ御もつ本金二兩つゝ平
野ハ鳥目也

一廿二日御誕生れ御祝ハめて度御延引ニ成まいらせ御事仰出され候

一まよしの御代参權すき殿御札進上

十六日晴

一東京え明日の御使り御ふみ計出る前大御乳ゟ藤宰相殿え御返事出し候

十七日雨

一ゑり司從一位殿明日東京え御出立ニ附御靜ゆつ御伺御暇よ御参新大納
言殿三位御局殿御面會有后宮殿え一条松壽院殿御暇よ御参りニ附新大
納言殿初え御重え内参る春丸殿ゟ九こん参る

一六番御文こえ内よ白綸子一反つゝ
新大納言殿三位御局殿前大御乳え下さるゝ松壽院殿え銀地角取御紙入
一組御まをる一本御袖入一御人形一御盃一枚上る春丸殿え毛うへのゐ
ぬ二まんちやく一ッ御ふてすゝし一御れもし入一ッまる・（う脱カ）しもりの御文
こよ入遊・（く脱カ）る

一松壽院樣え見事成御よをさらな五種
新大納言殿三位御局殿前大御乳ゟ進上申候

一ゑら司殿ゟ御到來とて御見事成御肴五種新大納言殿御初えおく・（ら脱カ）をまいらせ
東京ゟ御ふみ着后宮殿行啓ニ附れし御無人ゆへ浦野平野上京致候やう
此程の御使りよ申参り候所則兩人さしの本されれやう申参る御表え仰

出され候

一今日御今参殿御支度金五百五十三兩二歩　河内殿え

一支度金四百七十二兩二歩　三仲間松田まみ　内侍所さ候え

右三人え支度料

金二百九十八兩つゝ取次より表使ニて上る夫〻え渡ス

一后宮殿來月五日東京え御出輿御日限御治定仰出され候御事御吹聽候ふさの〻

一大宮殿兩宮殿えハ御吹聽后宮殿より仰参る此御所より靈らんしの宮殿瑞龍寺殿圓照寺宮殿蓮觀院殿御初富小路殿御初　三仲間えも申渡ス口向えも大龍[瀧カ]ニて申出し候

一御今参殿河内殿内侍所松さ候

來月四日東京え出立の御事まみ御表え申出る

一后宮殿御供奉女中衆兩御局　小上﨟　千種殿　中﨟右兵衞佐殿　御下さち越前殿初　三人

藤河之

三仲間より

兩人つゝ参

一今日御表より御支度金上る

一金五百五十三兩二分つゝ

油小路殿　宣旨殿　植松殿　千種殿

御ゐとひお千枝殿御中﨟右兵衞佐殿

一金四百七十二兩二分つゝ　越前殿

美作殿
御生所殿
藤河
藤坂
三仲間
八人え

一金四百十八両つゝ

右之通り御渡し申候

一修学院より松茸上る孝順院殿御初信敬院殿観實院殿え下され候

十九日 はれ

一大宮殿両宮殿え松平弁御内々の御みニて参

一后宮殿えも松平弁参る御使越後殿之

一新大納言殿今日御隠居の御礼御申入ニて

一大宮殿えこわく御一荷さ御すし一折御花ひん一とこ進上

一后宮殿え同断進上后宮殿より表向紅白御綸子一反つゝ金二千疋御内々
紫御縮緬御をよふ御ふく一ツ御参りの御時分下さるゝ

一両宮殿えこわく御すし一折つゝ御花ひん一とこつゝ進上御あへし御す
すし三種参

一皇后殿出輿の御時分此御所より御見さての所御表え御うち合ニ成候へ
とも是ハ御内儀ゟなふなりさ御宜敷と申入なり新内侍殿能登殿
女しゆよりもく

御ふく所ゟ

よし河に

参なり候う仰附なり御表口向え申出ス

一見さてハ青蓮院殿まてニて宜敷と御表ゟ申入なりあとは殿御参り御認
御間物御くわし出る東京ゟ御使り着勢州両宮正遷ニ附一夜ふらしなふ
せなり御くしの御品新大納言殿初え戴候

廿日もを

一東京え奥ゟ御あみ五・[日脱カ]限ニて御表え出る

一后宮様え梅芳院様玉蓮院様御暇ニ御参り申口まて御参り御くゝし出る

廿一日晴

一東京ゟ御表え向來る廿二日御誕辰群臣え酺宴賜乍儀當年秋實不熟供御ヲモ被爲減御救恤之折柄ニ付御禮式而已被爲取行候間右之通り可相心得事一冷酒紙敷肴之事

一諸官省其外トモ勅任官ハ參朝拜賀御祝酒賜候事奏任以下其官省ニテ拜賀申上名刺取集其長ヨリ言上可致尤御祝酒も其官省ニテ給り候事

太政官

一右之通り御表ゟ御書附上の〳〵へとも御内儀ハ御祝御延引と仰参り候ゆへ明日の御祝ハ御戴候事無

一后宮様行啓中御留主の人ゝ御無人ニ附知光院様妙染院段為段ゝ御頼ニ成候へも先ゝ御請ニ成候

廿二日晴

一今日御誕生日あゐゟ御祝ハめて度御延引ニ而ゐふセの〳〵へとも上下御靈社え御代参御湯立有御あく所あらさた参の〳〵御撫物御あく所御札上る

一東京え御廻しニ成

廿三日もを

一桂宮様巳刻過御参内成　午刻過

一靜寛院宮様御参内　后宮様え御暇ニ成もの〳〵御對面御もゝ御重肴ニ而御盃参る御くわし御茶出る御間物ハ宮中え御廻しニ成の〳〵夕らゐ宮中ニて宮様御二らゐ様后宮様御一所ニ御一献之兩宮様御暇の御時分后宮様ゟ御文こえ内ニ色ゝ玄んもの〳〵

一還御の御時分宮中ゟ御手さきのうち御よもさら彩五種つゝの〳〵今日

御ミやニ両宮様ゟ新大納言様初へ大めんすもし下され候御附上﨟様初
御くわし御間物出る子刻比御する〳〵と還涉成御表（之脱カ）も申出る由を拙様
御参りニて一夜御逗留御願ニ而

廿四日晴

一山陵御代参御表へ仰出され候此さひ大宮様の油小路様后宮様の御附添
ニ付御餞別ニ御小弁當一もこり𛀀のらん藤坂へも同断新大納言様初よ
り進上申候

一今日ゟ富小路様御参り梅園様御暇之由を拙様御いと済之

廿五日雨

一山陵御代参御表ゟ御榊くうし〳〵午刻ころ帰り御参りニ而言上有
一大宮様へ御領所の柿参る
一后宮様ハ御参り中ニてこあさニて〳〵
一両宮様へ同断参る御物書の御宏み也

一后宮様供奉宣旨様植松様藤河ニ文こ弁當御茶わん宏く済ニ入候て御餞
別ニ新大納言様三位御局様新内侍様越後殿能と殿前大御乳ゟ進上申候
千種様お千枝様越前殿

美作殿涉生所殿へ

二番文こへ内ニ人形十二　袖入三ッ入
新大納言様三位御局様もしめより進上申候

廿六日もを

一東京へ明日の御使り御宏み計出る申口ゟ
一烏子千代紙二十五枚御宏さ物中小五御盃御ちよく三ッ御廻し申候

廿七日もを

一東京ゟ御使り着四月六月八月御延引のあうえんの御くわし戴候
一今日蓮観院様御初観實院様御初孝順院様　后宮様御暇ニ御参りニて宮
中へ向御参り　后宮様へ御参り御對面御くわし御包物下されゝ御一献

ハ宮中え御廻し成こなさニて御認御一献御くゐし出る夕りさ御以とは
え御ミやニとて御雑煮下され候なとひ大瀧なり〳〵れ勤勞申立此度使
番新家御取さて願ニ付東京え願書御廻しニ成候へも東京御表ニて坊城
為も色々と御掛合ニ成候へ共當時り様成願多候へとも願之通り仰附
の〳〵へも一躰の御さしつりえニ相成候御事ニて願さしりへされ候大す
きた為藤宰相為も扨〳〵氣毒ニ思召段々奥え御願ニ成候御事ニて先々御
内々御内儀より深よ御をんミむなゐもされ相讀人十五才まて七人扶持
盆暮ふ半季んつゝ大瀧え戴りをニ相成るうニ御治定の御事ニて當冬よ
り右取計致候るう大御乳人より前大御乳え申參る御兩頭為ゟ新大納言
為三位御局為えも申參るもくに右之御沙汰の御事大瀧え申渡ス
一使番の拜領物御ゐふへニて十二石ト少々ニ相成よしニ而七人扶持ニ御
治定尤時・場（相脱カ）ニて御座候由申參る御今參為御神參り一夜御願ニて御下り
之明朝御下り之

廿八日晴
一今日朝御盃御設計御今參為めて度御下り之新大納言為初ゟ御よをさり
飛進上申候
一后宮為え御暇ニ宮小路為御初御參り御對面成御手つりふ御包物下さ飛
ゝ歸り御參り御認御間物御くゐし出る駿河との ハ不參之河内為神參り
一夜願ゐれ候めて度御よをさり飛五種新大納言為初ゟ進上申候
廿九日も些
一今朝御今參為御上り・（御脱カ）ミやふすし下され候なる後河内為上の〳〵御ミやに
なくゐし御ま飛御もふい申候
三十日晴
一今日后宮為大宮為え御暇ニ御内〳〵午刻過ゟ行啓成御見おくりみ
新大納言為　越後為　前大御乳參る
御内々ニて御板輿御白綸子めし成ふセの〳〵

一酉刻比東京ゟ御使り着ニて此度御一新ニて女房の名を御もれしニ成まいらせ候大すき様ハそのまゝ權中納言典侍殿御事二典侍權典侍殿御事三典侍新典侍殿ハそのまゝ長橋殿ハ御もれし勾當内侍御下伊与を御もれしニて一ノ命婦越後御事二命婦能登御事三命婦阿波を權命婦河内を新命婦大和を伊賀ト下され候

一御隠居のらさ〳〵是までの御名も御廢を被遊新大納言殿御事坊門殿と被下候藤大納言殿御事京極殿ト被下候あをきね殿御事菖蒲小路殿ト被下候宮内卿殿御事匣小路殿ト被下候

藤宰相殿御事筑紫町殿ト被下候富小路殿梅園殿ハ御名そのまゝ右衛門殿御事え室町殿ト被下候侍従殿御事音町殿ト被下候丹波ゐ御事青柳ト下され候駿河との事篠波ト下され候事仰参る

一大宮殿の女房左衛門佐殿御事楊梅殿右京殿御事松井殿右近ゐ事貫河常陸ゐ事夏引信濃ゐ事葛城兵庫事高機

一后宮殿女房右兵衛佐殿御事小野殿小侍従殿御事木辻殿越前ゐ刺櫛美作ゐ井奈野主水事磐

右之通り名改被遊御事之

一皇后宮殿還御子刻前一番申参る御出むらい三位御局殿二内侍殿三命婦ゐ参被遊御する〳〵と還御成大宮殿ニ而御庭の御煙草ほん御玄津の内色々御拜領御吹聴あらせ被遊還御の御事御表え申出る

十月朔日晴

一朝御盃御設計御夕御ぜん御座へ出る今日玄猪ニ付當年ハ東京ニてこれをかちん仰付被遊宮中えも上り候これをかちん后宮殿え二合まいらせ候宜旨殿御初え壹合つゝ下され候是ハ中の玄猪ニ玄んを被遊もつ乍當月五日御出輿ニ成まいらせ候ゆへ今日まいらせ候

一九条入道殿近衛御父子殿えのをかちん相らもふ渡参る御留主殿中ゆへ

前大御乳のおみニて参る
一大宮様両宮様え二内侍様御初御隠居様よりさ方御名を改まいらせ御蔵の御礼御吹聴申入まいらせ御多く所右京大夫新大夫小大夫を御廃しまいらせ右京大夫の所くれ波新大夫の所なる波小大夫の所新くれ波仰附まいらせ
宮様よりさの御乳人名改まいらせ
一静寛院宮様御乳少進事繪嶋ト被下候
一仁和寺宮様御乳刑部卿事三嶋ト被下候
一華頂宮様　御乳治部事　藤代ト被下候
一聖護院宮様御乳大藏卿事　龍田ト被下候
みなみな宮中え召れて仰附まいらせなう申参る
一仁門様ハ東京え成らせまいらせゆへ東京ニて仰附まいらせ御事申参る則召ニて前大御乳申渡ス御請御礼有大すき様御初みなみな書附ニて御表口向えも仰出され候

二日晴
一観喜乗院宮様御廿五めくりニ付大瀧御代香ニ参りまいらせ御香御花参る御心ざしれ御くわし廻し候御法事料ハ御表方出る
一后宮様方東京え行啓ニ付今日御祝酒下され候ニ付夕らさより御側ニて坊門様初御一献戴候御祝とはの御時分坊門様え御綸子御小袖三位御局様え同斷二内侍様え御紅梅の御ふもし一反新内侍様え同斷
一御綸子一反つゝ二命婦為三命婦為え
一御紅梅御ふもし一反新權命婦為え
一御すゝし一疋御兒え御綸子小袖前大御乳に
一御非縮緬一まきた末の衆　なおゝ
非板〆おもし一筋つゝ御煙草入一組つゝ　ゑた
一金十五両　なる波え

下され候　　三仲間一同江

一白縮緬一反　富小路殿梅園殿青柳為江下され　坊門殿初二ら和りニ
参り候

三日もを

一后宮殿江　近々行啓ニ附
候よを有五種坊門殿初富小路殿梅その殿青柳為ゟ
進上申候

一静寛院宮殿候乳今日参り〳〵今日名改申渡ス宮殿ゟ候言傳よ候をん被下
候

一此度千種殿東京ゟ候らへしニ相成候迄菖蒲小路殿匣小路殿候頼ニ成候
ニ附午後ゟ候参り妙染院為よも候頼ニ成ミ𛂦〳〵宮中ゟ候頼ニて日々
候賄口向より廻り候

一大宮殿の津山事油小路殿ト候一所よ参り〳〵ニ付坊門殿初ゟ金三百疋遣
し候

一后宮殿の三仲間江坊門殿もしめより金千疋餞別ニ遣し候新内侍殿新權
命婦為明日出立ニ附候認めて度候戴也
夕らさ候口祝有　　内侍所さ候
　　　　　　　　　表使
　　　　　　　　　　松田
　　　　　　　　茶くみ
　　　　　　　　　　まみ
候祝いゑゝかを候

四日雨

一今朝新内侍殿新權命婦為内侍所さ候松さまみ東京江御出立の所少々人足
入取間違おそく成先々巳刻前する〳〵と候出立ニ成候候くゐし新内侍
殿江月らき松ふ野のおま候候ゑゝらを申候新權命婦為江花形殘月八重
咲花候さゝらを申候
此度新内侍殿候初之内江敬衞十五人附〳〵くち木ト申候人之由

五日雨

一后宮様東京へ御出輿　卯刻二内侍様
三命婦様
ちく
よし河
なもじ様まて御見せて御先廻りにて御用にて御弁當御くわし廻しハ
后宮様ゟも御くわし御弁當折にて人別ニ下されハ由辰刻ころ御機嫌よ
く御出輿成前ニ坊門様三位御局様二命婦様青柳様前大御乳ゝ
一（御カ）對面成御手つゝら御白綸子御かく御古坊門様へ御白御縮珍御古御かく
一ッ三位御局様へ御古御かりんに非縮緬おもし二越後様へ嶋しゆにお
もし御かね青柳様へ非玄本りのおもし菖蒲小路様匣小路様御白とんに
御古御かく一ッ　前大御乳ゝ　下さるゝ御機嫌よく御出輿なふせ候
御見せて（所カ）道喜門ニ出來ハゆへ坊門様初へ參り御見せて申入ハ巳刻比
なもじ様へ着輿言上有午刻ころおもじ様御出輿言上有少ゝ御れまを二
てなふせ候ハしも伺ハて何も〳〵御當分様と申入候未刻前二内侍
様三命婦様ちくよし河ゟへ御參り何も〳〵御機嫌よく御する〳〵と
御れまをも御ゟく別の御事にて八なふせん御と伺ハ御する〳〵と御
出輿の御事御表へも申出ハ口向へも申ス大宮様兩宮様へも御返る〳〵
と御出輿の御事仰參る今日大宮様ゟ御見せてに藤谷様夏引様御參り夏
引様ハ明日ゟ御手つゝいまいらんせ候宮中ゟ三仲間なあゝ岩代大瀧な
る波參る御包物なあゝ始下されハ
一后宮様行啓ニ付知光院様何かと〳〵御を話御申入ニ付白綸子小袖下さ
れハ
應修院様ハ
行啓前より誠ニ〳〵御用多勤候ニ附先ゝ御出輿も御返る〳〵となふ
せ候右ニ付御まぬ二疋御なおそへ坊門様の御心にニて御戴おせ遊し
ハ松枝てハまを是も長ゝ御るとひ御用多つとめ候ニ付縫取の御煙草入

一組御ちよく金三百疋つゝ戴りそは

六日もを

一今朝明夜馬刻前申刻御機嫌よく大津え着輿の御事言上之由御表ゟ申入候〱酉刻比油小路殿より大津え御着にて御機嫌御よし〱殿の御ふみ参る

一東京え明日の御使ひ御ふみ計出る今日菖蒲小路殿え玄もふく御下り之

七日晴

一今日ゟ妙染院為さしくし為局え逗留に成候日ゝ御賄こなたより廻り候

八日もを

一東京ゟ御ふみ着御札の御長もちりへり候

一百ゝ御所え年ゝ参り候米十五石代時場にて金百五十七両二歩出され候

一光格天皇様

新清和院様え御備へ金十両つゝ出る　寺町廬山寺え

大瀧え渡ス

九日晴

とゞし

十日もを

一大宮殿両宮殿え御庭の菊の御花〱

十一日もを

一東京え明日の御使ひよもむの御むしつき坊門殿初より御機嫌伺よきん上申候筑紫町殿え御茶三つゝ　前大御乳進上

一孝順院殿一寸ゝ参り御間物御認御くわし出る

十二日晴

一今日后宮殿ゟ御使ひ着十日桑名より左るえ御廻りにて熱田御着にて弥

御機嫌御よし〳〵様の御事兩御局様ゟ申入まいらせ候右之御事大宮様兩宮様へ宮中ゟ仰參る

一明日新朔平門院様御祥忌ニ付金二兩知光院様へ出る御ともハ一筒ハ寺門へ廻り候御庭の菊孝順院様御りつてん孝格天皇様御初へ上り當御代ゟ明日の御代香ハおふせん候

十三日

一東京ゟ御使ひ着明春の御式の事御別紙ニて仰參御表へも出され候おあゝへも渡ス今日玄猪ニ附　大宮様へのをかちん二合まいらせ候兩宮様へも同斷參る靈らんしの宮様圓照寺宮様有栖川宮様御父子伏見宮様へ奉書ニて參る　山階宮様へハ當年ハ先〻御見合ニお成候

一れをかちん油小路様御初一合つゝ被下候

一同斷三合つゝ蓮觀院様信敬院様觀實院様應修院様孝順院様妙染院様富小路様御初京極様菖蒲小路様匣小路様へ二合つゝおあゝ取計ニて

一坊門様初もいなゝたれ候れをかちん二合弘誓院様へ奥ゟいなゝらせ候夕ら〻御盃御設計

一大宮様后宮様へ御獻小預りより廻し候

一修らく院より紅葉柹柚上る紅葉柿ゆう蓮觀院様へ參る

十四日晴

一桂宮様ゟ御使花さた參まいらせ候修らく院ゟ上り候柿十一參る孝順院様へ七ツ御藏らを申候信敬院様へ柿七ツ柚三ツ御藏らを申候今日よりおゐでの小路様御豆留ニ御參りニて東の明局御拜借ニて御賄ハ口向ゟ廻り候

十五日晴

一此〻ひ大瀧事おら〳〵れ勤勞ニより七人扶持藏申され候御礼ニとてすもじ御肴坊門様初へ到來

一后宮様御下の御ゐとひおなゝ津事今日薄清く成申され候上ふせ候御下〻

ち御座無御留主中御内〻御奉公人〻仰附まいらせ候名代小弁ト下されし宮中
え御礼ニ參まいらせ候御口祝下されし

十六日はれ

一后宮様今日大井河渡らせまいらせ候ニ附大宮様ゟ御重之内坊門様初被下候坊
門様初ゟ御まな三種上る宮中ニてハ御祝酒事ハ無后宮様ニてハ御膳御
祝御ぜん御吸物御重さかな出る御表御詰のかた〳〵えさけすゝめあり
めニて御祝出候由

一宮中御表ゟ御祝申入まいらせ候口向取次初ゟも御悦申入有

一東京え明日の御使り御たのみ計出る

此程御くしニ戴候御人形着用物出來候ゆへ御礼ニ御覽ニ入候ミやニ杉
折御くわし上る

一御庭のゑちはな御はち植のミつらん東京え御廻し申入候

十七日時雨

一后宮様十四日辰刻桑名御乗船荒井御機嫌よく御渡船午刻舞坂未刻濱松
驛に着與言上

一御庭のきく京極様え下されし理料菊室町様え御備へニ參る東京より御
使り着御たのみ計也

十八日はれ

一桂宮様今日御くら附ニて御たちん一たる上まいらせ候宮中御よきさかな三
種御内〻のみニてまいらせ候御庭の菊はな蓮觀院様孝順院様常行院様蓮德
院様え下されし桂宮様より上まいらせ候たちん御座え出る應修院為御留主
中御頼ニ附日〻御賄口向より出來候ようニ宮内省為え申出候所あゝえ
も申候

十九日折〻時雨

一御庭の小町菊をたさんニ植候あ

一光格天皇様　新皇嘉門様

仁孝天皇様　新朔平門様
後櫻町院様　新待賢門様
新清和院様　御備へニ成候
孝明天皇様　門院様らさハ御筒ニ生上る
一后宮様御日割之通り大井川今十六日御滞無御通輿藤枝驛え御着輿の御
事御表ゟ言上有宣旨様植松様ゟ御機嫌御よし〳〵様の御文十六日御認
ニて着

廿日てを

一后宮様今日ハ箱根の御日割ニて御表一同ゟ恐悦申入候

廿一日てを

一東京え明日の御使り御ふみ計出る紫御綸子一反御ゐる一反大御乳人え
御廻し申候
くふ海御代参前大御ちりふり和御札上る

廿二日晴

一大宮様ゟ富小路様御初召され御参り富小路様ハ大宮様ゟすくに御暇ニ
成候梅園様御代ニ参り富小路様えハ候まゝ御きんちふ下されしきんち
ふの小袖今日下され候さゝ丸方も御参り御願ニ而御参り御ミやよむ
のらた身進上御供の人ハ御用の御人ニて御座候此さひ后宮様行啓ニ附
五辻方御むらいニ上京の御時分大宮様え何ニ成とも御なくさみ遊而も
し候様ニと東京ゟ御金澤山ニ御拝領遊ばせ候御事ニ而御ふく和きと
遊ばせ候千五百疋つゝ坊門様三位御局様前大御乳
千疋つゝ二内侍様二命婦方三命婦方え
七百疋御兄え千疋つゝ菖蒲小路様匣小路様是御参り合ニて被下候
一五千五百疋　三仲間一同に
五百疋つゝ　隠居両人
同断つゝ　小とき　両人

下さるゝ
一后宮様御出輿の御時分二内侍様御見立何かと〳〵御物入ニて御もくひ
ふ金十五両被下候御附添ま三命婦殿参らせ候十両下され候
一五百疋つゝ御ゑうぶ　宰く　よし河
弐百疋　同断　仲居に
いゑつゝかを候清水谷殿御兒御参り御人形一毛うへの午御戴ゐを申候御
ミやニすきし参る
二十三日も逢
一松崎殿御里より御留主の人ミにとて御重之内参る長春院殿参り〳〵坊門
様初え御雑煮参る二内侍様ゑんしゆに御あたりニて御心祝すもし御吸
物御鉢肴お一もふい申候
廿四日も逢
一后宮様今日ハ東京え御着輿御日割ニて

一御表當番より恐悦申入まいらせ候
一桂宮様方着輿ニ附御祝遊し候とて吹よせの御もん御吸物坊門様もしめ
え下されゝ中御門殿なもし両人御参りニ而御重之内参る御内儀の御庭
御馬場御拝見御袖入一つゝかきりれ御かんさし一本つゝ御人形づゝ御
いゑつゝかを申候
一后宮様過廿日御するする〳〵と箱根御こしあふをまいらせ候小田原驛え着輿の御
事御表方言上有
宣旨様えも御ゐ参る御内儀方
一大宮様両宮様え申入まいらせ候青柳殿明日山陵拝参ニ附夕かさ方下まいらせ候孝
順院様御参りニて今晩御豆留之
廿五日も逢
一山陵御代参三位御局様御参り御榊上る御位もれ様え御色もあ上る御山
計ニてすくま宮中え歸り御参り之外ミ様え遠ミしく御くゝ梨もあ是ハ

青柳為承知ニて御廻し申候孝順院殿午刻前御暇也

一午刻ころ三命婦為事遠方の姨所勞よろしからす候由見舞ニ下られ申刻比昨夜姨死去のよし告來候ニ附十日間のいとま三十日着服届出る

一今日亥猪なるに御日柄ゆへこよひ御盃ハ御設も無れとらちんハ上り候奥え出る女中も戴候大宮殿后宮殿えも御献も廻り不申

廿六日折々時雨

一二条殿え昨日のれとらちん三合參るゝ妙らく院殿え二合參る御留主殿中ゆへ前大御乳のみニて參る青柳為今朝上られ

一東京え明日の御使り御み計出る

廿七日晴

一今日東京ゟ御使り着有此本とゟ御らを心殿あるに御よ敷しく被遊セられ御表えも出御被遊をられ事仰參る御多く所御為とひれて事此度御奉公人ニ仰附られ名改初瀬と被下候よし申參る一ノ采女ゟさきの子附到來致候

廿八日時雨

一朝御盃御設ケ京極殿え例年の御火たきニ附米一石代金九両御廻し申候后宮殿當月廿四日午刻前東京え御する〳〵と御着輿被遊られ御事言上有大宮殿兩宮殿え宮中ゟ仰參るたよし御代參大御乳人御札上られ桂宮殿御祥忌ニ付御菓子上

廿九日曇

一東京ゟ御使り着當廿四日后宮殿午刻前御着る〳〵と御着輿被遊られ御對面御重肴ニ而御盃かれ〳〵御事仰參る油小路殿宣旨殿御初する〳〵と御着ニ而御多み參る右之御事兩宮殿え仰參る

一有栖川二品宮殿東京ゟ召され候ニ附明日御東向ニて御暇ニ御參り坊門殿え御面會御申こみ有誠ニ〳〵御俄ニて何も〳〵上物ハ致不申坊門殿御面會有

十一月朔日晴

一朝の御盃の御設け御夕の御膳の御座へ出る大宮様へまふの御祝ま御み出る坊門様初申入まいらせ候

一東京へ明日の御使りよ御庭のゐんきの御廻し申候后宮様着輿の御悦申入御ま祝料金千疋坊門様三位の局様二内侍様富小路様梅園様ゐるめれ小路様匣小路様御児二命婦へ前大の乳青柳へゟ進上申候三命婦へハさしつらえにて下り中ゆへ上ふせ候知光院様今日ゟ御参り御参り中宮中ゟ御賄下され候今日奥の御若き御らさ〳〵御児后宮様の若きらさ〳〵こなさ三仲（間脱カ）后宮様三仲間若き人々明年の二月まてゐひをめんをまいらせ候るう東京ゟ仰参る申渡ス何せも御礼申入まいらせ候

一桂宮様へ御よを肴三種御内々の御みにて参る桂宮様へ大瀧参まいらせ候こよひの御盃御設け大宮様后宮様へ御こん小預りゟ廻し候

二日くも

一桂宮様ゟ坊門様初へ御吸物すもし戴候

一静寛院宮様ゟおんく参まいらせ候に附御言傳よゐんめん坊門様初へ戴候おんく事御暇の節ゐやくうせんもしやと上申候

一故宰相典侍様近々御三めくりに成候に附御心ほしにとて庭田へゟ御まん参る知光院様明日御参りの御ミやよらゐくうとん坊門様初へおもふん申候

三日先晴

一東京ゟ御使り着御み汁長橋様ゟ新内侍様東京へ御下向の御挨拶よ長橋様新内侍様ゟ坊門様三位の局様前大の乳へ加賀らく一くこおもふい申候茶阿ゟ海苔百枚到來致候らやくうとん大宮様ゟ参る静寛院宮様ゟ昨日の御重におまつ五枚入下され候知光院様へ参る

四日くも

一聖護院宮様ハ此度御門跡に相成候由當時の宮様ハ照高院宮様ト申候様
今日宮内省殿ゟ申入まいらせ候此こひ　照高院宮様御元服東京え御願ニて御
願之通りと仰参り候ニ附御冠西京ゟ出されるやう御直衣ハ東京ゟ御廻
しに相成候よし宮内省殿ゟ申入まいらせ候篠波との退散のせつ小文こ大御乳
人前大御乳え預ケまいらせ候小文こ今日申出しニて則櫃ニ御返し申候

五日晴

一今日三命婦殿薄清く成申されて御機嫌伺申され候夫ゟ奉書出るめて
度上まいらせ候御口祝有千種殿所勞よ汲しらふ汲音町様祖父様ニて三十日御
引籠觀實院様孝順院様常行院様子細の御所勞ニて廿日間御引籠御届出
る

桂宮様え御きわひ料七十五石まいらせ候

六日もゑ

一東京え明日の御使り出る明年こよみ御廻しニ成候來ル九日子祭ニ付
正親町殿召されるやう御表え仰出され御請有子のひの御琴御拜借御願
有御願え通りト仰出され候

七日もき

一近〻故宰相典侍様三光くりニ付三位御局様大すき様筑紫町様
御香てん金五百疋上る三命婦殿前大御ちゟ別段御花料百疋つゝ上る是
ハ松山え願御里え上申候さき札附候子刻ころ出火ニて三番らへり中立
賣新町西入所ト申入瑞龍寺様え御ちらく御尋の御使出る先〻もやく玄
津〔ま脱カ〕り候れしも追〻参まいらせ候后宮様ゟ木辻様御参り宮中ゟ二内侍様御参
り

八日晴

一昨夜ハ近火ニ付今朝ゟ追〻御静なつ伺仁門様御初より有瑞龍寺様ゟ昨
夜御尋の御礼御口上使ニ而仰入まいらせ候

一大宮様両宮様え明日子祭ニ付大黒様御参りのやう仰参る昨夜御近火の
御機嫌伺の御文参る
一静寛院宮様ハ御焼失後大黒様ハ給ふをん候御断仰入まいらせ東寺観知院
様より御留主中御なつきに坊門様初に青籠ニて乙事成青物参る観寶院
様御初四方え御引籠の御見舞に三種つゝ坊門様初ゟ進上申候

九日てき

一今晩子祭りニ付大宮様桂宮様ゟ大黒様参る后宮様ゟも参る東京ゟ神無
月廿二日あうえんの御くし取給ふせまいらせ坊門様初御参りのらさ〳〵え
も被下候長橋様ゟ表向の御みニて給あゝ事此度頭ニ仰附まいらせ名をあ茶
ト下され候事四折ニ認仰参るをくに申渡候御請申入候跡役ハ東京ニて
夫ゝ仰附まいらせ由仰参る右之由御表え四折ニ認ニて申出候
一夕ゟ宮中の大黒様ハ小座敷下段御祭ニて御備へ上る大宮様后宮様宮
様のも御次第ニなふへ女中衆もあふへ候て正親町殿召され御参有御見
ニて召し候上之御間に御座設まいらせ三仲間のハ御三間まて持参りてふも
ん有何も〳〵御する〳〵と済をまいらせ宮中の大黒様く汝家御間ニて御膳
御らゝみ上る大宮様御初御返しに参る奥の御み之后宮様より木辻殿申
出しに御参り之御夜よく御座え出る女中衆子祭の御認戴候

十日晴

一昨日東京ゟ千秋〔万脱カ〕歳明年も給ふをれ候やう仰参る明年ハ十九才ニ成まいらせ
御薬師をふて例之通り給ふをまいらせ様ニと仰参る御留主の長官殿え仰出
され候

十一日晴

一東京え明日の御使り出る奥ゟ御み汁筑紫町様え此間の御返事前大御乳
ゟ出し候后宮様え寛禎様御参りニ而宮中えも御参り霊らんしの宮様ゟ
一番御文こに御さ候く物色ゝ参る申口ニて一寸ゝ御くあし出る

十二日先てき

一東京ゟ御使ひ着坊門殿初御めとへ御ゟさひ〆御和あちニ成大すき殿よりの廻しニ成何ごも戴候

十三日雨

一東京ゟ御つみ汁着大御乳人ゟ前大御乳え御つみ参る

十四日てき

一霊りんしの宮殿え此本とのゝ御礼よ御きれく切三色御弁當の御茶ごん添進上申候

十五日雨

一と形し

十六日晝後てき

一東京え明日の御使ひ御つみ汁出る未刻比東京ゟ六日出ニて六日限の御使ひ遠着ニて着有東京ニて油小路殿千種殿さしくし為當月十一日する〳〵と出立の　藤坂候

よし申参る油小路殿え　梅津

金五十両御地赤の小袖御手つゝふ御包物　藤坂え津山

一同三十両紫小袖

同二十両きん本う小袖

一同千疋つゝ千種殿御初五百疋　なれ候

下されし由申参る

十七日てき

一今日中御門為え當御代の御乳　つきる英濃入谷てれ

此度世悴使番ニ召出されれるう願書出し候ほゝ先ゝ御渡申候夕方東京より六日限ニて御使ひ着東京ニて去ル八日宮内省為ゟ申入の〳〵ニハ今年の凶作昨年ハ奥羽のゑゝりゐニて其邊のなきハましりふぬ事ニて難澁致候物も多窮民御すくひ被遊度思しめしニなふきの〳〵ニ附てハ御表

御内儀とも今日ゟ御省略ニも遊ばし候様申入候儘西京え右之よ
し心得のため申参る是ハいつまても申候事ハ遊ばせ候何事も御省
略ニて御らさも遊ばし候ぬ様ニ成候ても恐入筑紫町様と申合
御内儀の所ハ萬事表向ハ御取らひし
御事ハ是まての御通りニ遊ばし候御内ゝ玄んを候物又御くしの御
品と申候様成御事を御手らるに御まんしニ成候様先ゝ御治定
ニ成候由大すき様ゟ申参る
一寒中大宮様両宮様え御まなハ御目録ニて東京ゟ進らせ候由申参る大
宮様えハ油小路様御帰り御参りニ而申入の御事を申参る両宮様えハ別段
仰進せ候て宮中より御省略の御事を仰進らせ候様仰参る則両宮
様え仰参る御省略ニ附
新掌祭ニ附大宮様御初え進せ候御くしの御品例年とハ御半分御きん
しニ成候様御もて遊ばし候へも御箱物ハ無御添物も少ゝニて御宜敷

と前大御乳え仰参る何も承知致候御神参も御同様と申参るまゝ〳〵
三仲間えも御くし御きんしニ致候様申参り候

十八日てき

一東京ゟ御使り着坊門様初女中乗蓮観院様御初富小路様御初三仲間知行
下され候御書附参り候へとも一寸ゝ長官為え御尋申入候事御座候ゆへ
今日ハ仰出され不申三典侍様
一まとし御代参御札進上新すき様
一くふ海御代参御札らふら和進上

十九日てき

一光格天皇様御忌月ニて遊ばし候へとも何も御備へ遊ばせ候昨日
東京より参り候知行の御書附長官為え持出候へも東京え伺候御事御座
候海ゝ夫ゝえ御申渡ハ先ゝ御見合ト申入候

廿日晴

一と申し

廿一日てる

一東京え明日の御使ゟ御み計出る

廿二日てる

一近衛信君様なとひ御縁組ニ附五色の和歌一せこ御内〻赤地の御きれの内小町形御紙入御らき附一組御まもる一本御袖入二御人形二らきりの御とめ一木花の御らんさし一本御文鎮一對御なつり一御筆さん一御香せこをつらう御多くは御地はお菊ニ小はふひ御縫之御伽羅の御名ハれせ何の花御香さとふ松ニ鶴是ハ東京ゟ宮中ニて致さんをまいらせ為う仰候り今日近衛様ゟ御傳への為うニとくれ候

一東京ニて今晩ゟ新嘗祭の御神事二夜三日ニてはふをまいらせ候御祭ハよし田様え附まいらせ候由宮中ハ御神事はふせ〻れ候

一大宮様えハ御くし御きん本ふ御表一ツ男形御紙入とく一金地すみ取一組くし形御煙草入縫取御煙草入二ッ、御袖入二殿中半五御人形一三ッ重御盃一組大らきり御らんさし一本平うち一本御まもる一本候る

一両宮様え同断御くし候る御當夜御はゑゝま物ハ廿四日くれ候御表より申入まいらせ候是まて社頭向え御祭節御撫物御もつ本取次の御使ニて出されは事と申し〳〵御もいをまいらせ候由御表ゟ取次えも申渡されは由申入まいらせ候

廿三日てる

一桂宮様ゟ明もんの御くしニとてなの板〆一反すゝとり御紙入一組御袖入一男煙草入三組縫取御煙草入一組なふうち一本銀の御もし一御人形一御手さき一もこ坊門様初下さるゝ東京えハ御祥忌の御湯遊もしらるはゆへ上くれ候との事ニてはふをまいらせ候

一油小路様初來ル廿五日大津え御着ニて廿六日京入の由申入有

一廿五日山陵御代候御表え仰出されは

廿四日晴

一今日新掌侍御當夜御夜食あらしニ附大宮様両宮様あやくうせんまんをゟ大宮様方御夜食らしニ附御重之内御取肴うた〳〵外に御くしニとて白綸子一反紫板〆一反ゐの板〆おもし三女形御紙入二男紙入一まんちやく二ツ男煙草入縫取三組つゝ御袖入三ツらきりらんさし一本平うち一本御まをる一本御人形二坊門様初え下さるゝ后宮様え蓮観院様御初御参りあやくうとん下され候御當日ゆへこあさへハ御参り無今晩御豆留の由

一今晩御夜食らしニ附宮内省為内番所え御ゐふにらふ物一もちのたの汁出し候后宮様御留主のらさ〳〵え御おちん五十上る今日昼後方富小路様御参り明日梅園様御暇もやや冬中ハ御参り無候ゆへ御紅一疋金三千疋御挨拶ニ下され候御稽古の御食く二ツ御戴らせ遊し候今もん坊門様初御くし取有三仲間一同内侍所両人えも一寸〳〵御くし戴らせ候

一よ祓あ半二刻過新掌侍御祭御表方御するゝと済せゟ御事言上有

一大宮様両宮様え御ゐふを申入候早々后宮様えも申入候御表え御静ゐつ申候女中乗もやすと申候

廿五日晴

一山陵御代参御表方参向御榊くうしゟ帰り御参言上有青柳為拝参ニて下ゟ蓮観院様信敬院様御参りニて来月孝明天皇様御忌月ニ附近々圓通寺ニて百萬遍とめ候ニ附御備へ金三百疋ト千疋下され候やう申ニ附来月中ころよ出され候やう御申入有

一今日油小路様御初大津え御着ニ附宮中方御尋よ御杉折御くわし御ゐニて下さるゝ御文まんやすふ候也

・廿六日晴

一今日昼比青柳為上ゟ午半刻油小路様初御するゝと御着ニ成候事大宮様方仰参る千種様初御着ニて宮中え御参り御口祝有梅津も帰り参る

大すき様御初より御言傳有御口祝御認戴られ候

一明日東京え御使ゝ、り御み汁出る御庭御馬場のらふ物大清ニて御廻し申入

候

廿七日晴

一明日照高院宮様御元服ニ附此程御願の御冠奉書ニて出され候御直衣を

宮内省え出され候御らき尾ハ御参のをつ給り候

廿八日くもる

一今日照高院宮様御元服ニ附宮中ゟ三種一荷御馬代もん金一枚御使ハ取

次ニて旨三種一荷ハ立目録之御太（刀脱カ）馬代よこ目録ニて御口上使之　御茶

え渡ス

一照高院宮様ゟ御元服ニ付

二種一荷御太刀一こし御馬代金三百疋御きん上之

一金貳百疋宛御両頭様大御乳人大和とのえ

一金五百疋御乃ゐ料三千疋こゐく御料

惣女中え参るなさい一もこつゝ御両頭様

大御乳人

大和とのゟ

御肴一折惣女中衆より上る

一油小路様廿六日東京ゟ御帰京ニ附今日此御所え御参り東京ニて御機嫌

御よし〳〵様れ御なう子共御近〻しく御見上の通御申入申口ニて御口

祝御吸物御重さらゐ御認御なまて付ニて出るくもし御くゐしも出る

一東京より坊門様御初三仲間まて拜領物木辻様御初知光院様應修院様妙

染院様も御戴の由也

一后宮様ゟ海苔一箱坊門様

御くゐし一もこ三位御局様前大御乳え津山事もするへ〳〵と帰京油小路

様と御一所ニ参る口祝御おさゝめくもし戴られ候

坊門様御初にえ御ミやニとて海苔五十枚入到来

廿九日晴なふき

一明三十日賀茂両社臨時祭ニ附候撫物金五百疋つゝ奏者所え申出しニて渡さるゝ千種様ゟ海苔百枚さき三本さしくし為ゟ坊門殿御初え御ミやニ参る観賓院殿孝順院殿御参り晝の御認出る御間物くをし出る御ミやニとて押ゑちんもん弁参る夕らさ御暇也水薬師よりなのくこん坊門殿御初え参る

一桂宮殿ゟ御使花崎参候御茶宴御もん御ふしめ御吸物参る

一照高院宮殿昨日御元服の御礼ニ御参候三間の御ゑんさしたニて坊門殿御面會御拝領物の御礼仰入候御らき緒肴御懐中ニて御退出之

晦日晴寒氣つよし

一東京ゟ御使着　鴨両社臨時祭御するくと済候由神祇官萩原為言上之由御表ゟ御兒ニて申半刻比申入候弘誓院為此ほとゟ病氣ニて御

留主殿中あゐふ坊門殿御取計ニて御くわし二種小ゐふ添ニて知光院殿ゟ御戴るをゐう申参る

十二月朔日晴

一朝御盃御設計御夕御膳御座え出る

一大宮殿えまふの御祝き御みニて仰参る坊門殿初より御たうた申入候后宮殿え御礼ニ参る東京え土山参り候ニ附此程仰参り候壽老人の御硯もこ御表え出され土山え御渡之今日知おん院の香衣七月分金四百八両三歩十二月分二百四拾両上納大すき殿御局より請取候弁官えのも請取是ハ明日出候御使りふ東京大すき殿え御廻し申入候夕方御盃御設計靜寛院宮殿え御寄さ物むし参る御表え御劍御ぞきに出され候

一内侍所御ゑふし御手始七日と伺有伺え御通りと仰出され候

二日もき

三日はれ

一今日油小路殿藤坂より東京より御帰京の御ミやニとて坊門殿初えてつなん一ッ、海苔一もこつゝ下され候
菖蒲小路殿匣小路殿えも同断参る

四日雪

一此度孝順殿ゟ御願ニて先年御供養料
孝明天皇様御代中ニ金二百両御預ケニ成かの〳〵本金二百両御戴キニ成
候様御願ニて候へとも此度の御大変ニて本金いらゝ相成候や相見ら
り不申先ゝ當冬の所ハ孝明天皇様御残金ニて弐百両孝順院殿え御戴る
を申候なる後御参りニ而御間物御認御くわし出る

一東京ゟ御使り着

五日はれ

一當冬御なん料御祝き向ヨ三千両御表え仰出され候則今日札ニ而千五[百脱カ]両

金ニ而千五[百脱カ]両奥え上り候請取書出る

一永平寺の香衣長橋殿より上納四百三十両二歩請取申候

六日はれ

一大宮殿ゟ東京え参り候御状箱三ッ大清見ふ渉と一ッ参る呉服所に渡し
候東京え明日の御使りニ春ゟ御前向御らわり物出るこわく御膳五衣
一もこ内ニ五衣三通り袴四ッさし一もこ拵御見衣二まよし大なん一箱

一繪元ゆひ金紅十枚まよしニて廻し申候

一靈らんしの宮殿ゟ寒中ニ付ミつらん一らこ上かの〳〵富小路殿今日御暇
匣小路殿今日ゟ御参り

七日

一御撫物御引替ニ付御初穂大すき殿の御局え出る別帳有

一静寛院宮殿ゟ御用ニてお藤殿御参り坊門殿初え御ふうめん御くわし一
もこ参る申口ニてくもし御認御くわし出る

一内侍所當冬ハ御見つくろい初ニて例年之御通り沙つり緒参る

八日晴

一此度仲間小御人めしあゝへまいらせ候ニ付上賀茂社司鳥居大路の女お八重御め見へに三命婦為局え参りまいらせ候申口御ゑん座敷ニて坊門様御初御覧遊し御包物細工御紙二ッ平うち御りんさし一本御くわしきんしなんきんな下されハ末の衆御ゐとひ上まいらせ候申の口祝ニて御祝戴あそされハ名を玉津と下されハ奏者所沙引替御撫物沙初穂出されハ

一桂宮様ゟ暮れ御祝き金三百疋つゝ坊門様三位御局様御兩頭様大御乳人前大御乳に

一金二百疋つゝ一命婦為二命婦為伊賀とのえ下さるゝ

一桂宮様え折あし御機嫌伺よ御くゐし一もこ坊門様もしめ上ハ

一も梨の供養ニて一命婦為ゟうんそふらゆきん上　大宮様兩宮様えあみニて上まいらせ候

一后宮様えハ末のしゆ口上ニて上まいらせ候

一夕方沙盃御設計

九日晴

一まよし御代参　新権命婦為
御撫物返上御札きん上

十日晝後ゟ雨

一東京に沙用ニ付三日限ニて御使ゝり御兩頭様え坊門様三位御局様より御み参る一命婦為大御乳人え前大御乳ゟみ出しハ圓照寺宮様ゟ寒中ニ附御くわし五さお上りまいらせ候高ら村ゟミつらん一籠例之通りきん上山井従五位為元服ニ付御太刀一腰きん上

十一日晴

一東京ゟ霜月廿八日出御使ゝり着廿四日新掌ゝの御當夜御くしとて

一御手さき一もこ　坊門様

一紅板〆おもし　三位御局さま
一御袖弁當御切　二内侍さま
一御ちよく一對御煙草入　二命婦ゟ
一てつせん紫板〆御切　康丸ゟ
一紫板〆おもし御人形　京極さま
一紅板〆おもし　はやせの小路さま
一同断　匣小路さま
三命婦ゟハ
服者ニて下〳〵ゆへ下さき無
一御手さき一そこ　前大御乳え
一后宮さまゟも御使着思召さまニて鳥渡御包物坊門さま三位御局さま康丸ゟ前大御乳に下さるヽ

一東京え明日の御使り出る御紅御ちよく三十御月せん年始ニ給り候御末むろ三百五十本御料御寶船御廻しニ參る
一后宮さまえ進せ〳〵御寶船五十枚
大すきさま御初　三仲間とちえ下され候
一内侍所
分参廻り候おきらゐやうのもち御廻しニ成東京え大宮さまゟ御状箱二ツ御廻し霊らんしの宮さまゟ御献上の御品外ニ封物參り廻し申入候
一華頂宮さまゟ御留主の女中衆え御重之内參る后宮さま御留主御無人ニく長ゝ妙染院ゟ御頼此程めんせ〳〵今日御暇ニ付宮中ゟ白綸子一反金子千疋下さるヽ
十二日晴
一桂宮さまえ上り合ミつらん一らこ參る
一御寺御所えも同断參る長ろう下御ふうし也富小路さま長ゝ御參りニ附御

紅一疋金二千疋坊門殿三位御局殿の御頼みにて下さるゝ

十三日晴

一今日東對屋すゝむふれに付坊門殿御初え御認戴らせ申候暮過東京ゟ三日限にて御使り着去月廿日勢州外宮の末社なうもい所ゟ出火に而末社御樹木の邊まて火移り末社早ゝ御立退に相成候へとも御別条あらせられ候との御事にて鎮火後直に御鎮座に成まいらせ候御事東京御内儀ハせんと〳〵御ふんし無九日未刻比内侍所刀自え白川殿ゟ御申に附御表え御詩に成候所なもり右之御次第に附今晩より御俄に二夜三日の御神事被遊候御事申込にて十一日御當日酉刻神宮御拜あらせまいらせ候御慎にあらせまいらせ候御事御急使にて仰参る扱ゝ恐入候御事大宮殿えハ東京より仰進らせまいらせ候兩宮殿え宮中ゟ仰参り右之御次第ゆへ明日西對屋すゝむふれハ先ゝ見合に成候

一桂宮殿今日御すゝむふれに附御肴参る御頼み奥ゟ

十四日もゑ

一今朝長官殿御参りにて勢州出焼之御事御内儀え申入まいらせ候所東京御表え三(日脱カ)限にて申入東京ゟ御返事参り候へも申入候御つもりの所れまた御表えハ御返事参り不申東京御内儀より仰参り扱ゝ不都合にて實ハ勢州外宮末社餘物所より火出らせなゝあしく大なくに火うつり外宮御立退に成まいらせ候先ゝ御別条もあらせられ候御鎮座あらせまいらせ去らし大なくに火うつり候ゆへ其木を伐し候人壹人その下に成養生出來らるくゆへ外宮觸穢に相成候ゆへ御慎あらせまいらせ候御事と申入まいらせ候なる後蓮觀院殿御参り此度大佛の地内に蓮觀院殿御初御用にて御屋敷出來候御礼御申入御知行前借御願之通り出來候御礼御申入有此程御申入の御百萬に付三百疋千疋蓮觀院殿え上る孝明天皇樣の御殘金に而出し候十七日に御心にしの御事ハ廻し候

一御上の御なしまよしより御祈禱申にて大すき殿の御局ゟ上る七条大佛

師ゟ上る是ハ奏者所より上るなとひ錦小路殿ゟ大けん丸昨年今年献上
有右兩度の御返し御祝の二ゆひつゝ御表え出され候

十五日晴

一今日西對屋すゝもふれ三位御局殿初御認載候東京ゟ御使ゝ着有
一宮中ゟも御急使にて大御乳人ゟ申來り候御與かとん御らゝみ共御廻し
申候此御品御なりやりの御ぬとふはふきの〜ゆへ夫を上申候髮上三人
分くし三枚くしもふい一水引さしれなき一本廻し申候一命婦殿え向出
し候

十六日晴

一東京え明日の御使ゝ御みけ出る今晩月なくに附亥刻前御殿包六位廻ら
れ候

十七日折ゝ雪

孝明天皇様近ゝ御祥當に附圓通寺にて御供養にとて御百萬致候に附三百
疋御備へ千疋御心付し御弐百御廻し申入候
一孝明天皇様御祥月に附靈らんしの宮殿え御供養金一兩御くわし料二百
疋來る御殘り金に而出る
一靈らんしの宮殿え御さか祝料に金百疋つゝ
坊門殿大すき殿筑紫町殿
長橋殿新命婦殿一命婦殿前大御乳ゟ
一五十疋つゝ二命婦殿三命婦殿新權命婦殿伊賀とのゟ
一百疋をあなめれ小路殿匣小路殿より今日御一所に來る七条大佛師ゟ上
る御上の御星神祭に出され候御初穗二兩之是ハ土御門殿え出され候十
九日に東京え御廻しに成候ゆへ明朝御もやく出候様申出候土御門殿え
年中御なん料半金一枚出され候來ル十九日御神樂に附
一大宮殿え御夜なうしの御くし來る御きんかふの御表一はゝき男形御紙
入一組男形三とく御紙入一組女形三とく御紙入一御袖弁當一御人形二

御盃三枚御袖入二大からりらんさし一本平うち一本御まきる一本御煙草入縫取をり物二組つゝ

一両宮様へも同断参る御三から様共明日玄んをまいらせ候

十八日折〻雪

一大宮様両宮様へ寒中御見舞よ御乃形一折つゝ参る靈からんしの宮様瑞龍寺様圓照寺宮様へ寒中の御返し御くわし一折つゝ参る東京より御使ひ着明年の御星参る當月廿七日ゟ八日ニ護浄院奏者所へ召され御祈禱仰附まいらせ候よう二内侍様へ申参る

一大宮様両宮様へ明もん御くしまいらせ候

一桂宮様ゟまさ御祥忌の御湯遊もしあそ東京へ御くし上まいらせ候ゆへ一寸〻坊門様御初へ御くし下され候

一御星御神祭相濟土御門殿ゟ上まいらせ候もくに宮内省へ出され候后宮様の御星も御一所ニ御廻しニ成候御膳酒御おつきふき御茶の御茶ほん御一所ニ出る

一御冠二もこ御緞二枚御緞もさみ壹御らき緒十らき御廻しニ成候宰領使番参る東京ゟ御長さ知着御箱物七もこ有御長さ知ハ御返しニ成候

一大宮様御すゝもふいニ附御よき肴御ゑみをくのより出る

十九日晴

一今日東京ニて御神樂あ御神事御當日

一大宮様ゟ坊門様初へ御うきん参る宮中よりも大宮様両宮様へ御夜あらし二附御あゑゝ纔物まいらせ候御くしハ昨日参る

一東京ゟ御使ひ着此度京極様ゟ金二百両御拝借御願ニて西京より出され候よう仰参る今日御表ゟ四日限の御使ひ出候ゆへ御内儀ゟ御み计御一所ニ出され候今晩御夜あらしニ附宮内省内番所に御ゑふにらふ物御取肴出る夕からより青柳為事玄もふく御んと海ニ附當二月より御よとひニ附らふらあ御ゑもち一金子五千疋下さるゝ今もん三仲間一とう内侍

所藤にならつえ御くし藏あそハ
一后宮様の千種様御初ハく山なれ共にも一寸〳〵御くし藏あそハうしれ
刻比御表え御静なつ申出し何ぞもなすまハ
廿日もき
一御もゝの御前ふうし有
廿一日折〻雪
一東京ゟ三日限の御使り着ニ而此度御下御無人ニ而鳥居大路の女何時ニ
ても召出されハて御よろしくと仰参る西京御表えも仰出されハなう申
参り則早〻宮内省え來ル廿三日召されハ御事申出るらつふた為え能登
為ゟみニて申参る明日御もゝてふれニ附うんふうの殿上人参め〳〵うん
ふう有今日うんふふの殿上人え給りハ而なゝた物宮内省ゟ御申附の由
也
一后宮様今日御稔うしニ附千種様初えらなくふうめん参る

廿二日雪
一今日淨常御殿御もゝてふいニ附内侍所御もたそめ濟せめ〳〵御事申入有
夫ゟ御表え引渡し卯刻前大御乳之今朝かうんふう無御表のらさ〳〵え
出しハ物ハ宮内省ニて御申附ニ而御内儀よりゑ何も〳〵出し不申桂宮
様ゟ坊門様初えあなくうとん下されハ千種様より御すゝ梨一重おまつ
三枚坊門様始え旨今日ハ長橋様の御局様を拜借ニて坊門様初参るなる
の御もん御湯藏ハ夜の御もんもなふあゐ形もちニて藏ハ申半刻ころ御
する〳〵と濟せめ〳〵夫ゟ暮〳〵もた原為御参りニて御清もふい有うん
ふうの殿上人先しうんふう有當年ハ御留主様ニて奥向ハ御なゝみ御障
子ハ見ほくろい申口向二ノ間三ノ間御なゝみ惣らへ之明年還幸前奥ハ
なゝみふうらえ之何も〳〵御すぎ〳〵と濟ハて御夕御膳御夜ゑよく御
ゑつき御盃御三献無御こんぬ而ぞニて御設計
廿三日晴

一水無瀬宮え年中の御撫物御引らへ御もつゐ金千五百疋出る

一今日巳刻鳥居大路の女御下もニ召出され上らるゝ名を今参女蔵人と仰附候ニ付着用物ハせんじニ袴済候て御口祝こんのふもし一疋紅一疋紅袴下さるゝ后宮様え御礼ニ参候ニ付御口祝并之着用物同断坊門様初え五種の御硯ふた肴御ミやニとて下され候御世話能せ方之今日ゟ三日の間御認下され候所明日ゟ御精進ニ成候ゆへ廿六日ゟ下され候夫まてハ御客とぞ認被下候

一今日召出され候も御表え申出候名も書附ニて申出候口向えも申候三仲間えも申渡し候

一此度坊門様初知行所もれを候ニ付御蔵米ニて給り候よう霜月七日東京ゟ仰参り候所西京長官方少え御間違是有候様御申ニ而先ニ仰出され候御事ハ今一應申入候まてハ御見合ト申入候ニ付其まゝ御内儀ニ御預りニ相成候所昨日東京の宮内省方ゟ西京の宮内省方えおろし御書附参り上

候ニ付ふんのため今日長官方え御尋申入候所色々とらき合ニ相成候ね共西京ゟ申入候通りにハ出來らさく右之御通りよ夫々御申渡しニて御よろしくと申入候ニ付則夫々御書附ニ而申参る御留主の女中衆三仲間えも仰出され候

一二百石大き様　百八十石二典侍様

一百六十石宛　三典侍様　新すけ様

一二百五十石長橋様　百四十石宛新内侍様初

一百二十石一命婦方二百石大御乳人

一百十石宛權命婦方新權命婦方

御さし伊賀との

一三十五石宛　一宋女

御茶　御茶

三　波

一三十石つゝ　三仲間一同

一十五石つゝ　はなとひ

供　涉

小　なえ

一十石宛　茶　くみ

東京ニて秩祿現米

一百五十石宛　坊門へ　京極へ

一百石宛　菖蒲小路へ　匣小路へ

一百四十石　二内侍へ　百十石宛

二命婦へ

三命婦へ

一百三十石當時勤仕ニ付　前大ゆ乳

廿石

一四十五石宛は兒四方

一十五石　隱居　尾張

一三十石　〃　大瀧

一二十石　〃　江坂

一十石　仲居　紅葉

一九石宛　〃　も海

〃　ゑけ

一七石　はゐん居　茶尾

一九十石蓮觀院へ　八十石信敬院へ

一十七石宛順勝常照明淨文勝寶珠　はなとひ　むさ

一十四石

一九十石觀實院へ　五十石

應修院ゟ長春院ゟ
一十五石宛　貞本覺月
一十三石　玉（ゆゐとひ）堂
一八十石　孝順院ゟ　五十石　妙染院ゟ
一十七石宛　知定行眞玉淨
一九十石　知光院ゟ　七十石　梅芳院ゟ
一六十石　玉蓮院ゟ　七十五石　弘誓院ゟ
一五十石　本壽院ゟ
一十七石　如淨
一十五石　得定
一十六石　妙雲
一十三石　（ゆゆゐとひ）一人
一百石宛　富小路ゟ　梅園ゟ

一九十石宛　常行院ゟ　蓮德院ゟ　室町ゟ　香町ゟ
一七十石宛　青柳ゟ　條〔篠カ〕波との
一二十石宛　岩代　後瀨　淺間
一二十五石宛　三笠幾山
一九石宛　（故宮ゟ）妙敬院　妙成院
　　　　　（〃）慈眼院　祥雲院
一二十四石　瑞松院
十一石　義芳
右之通りに下されゝ
廿四日之き

一孝明天皇様御忌月ニ付今朝より御膳御精進般舟院え御代参三位御局方
御備への御くわし上る御色花大一筒上る御心さしの御くわし有
一山陵え御代参三位御局方御参り被榊上る御備への御くわし上る御位は
い様え御色花上る御くわしも上る御心さしも有三位御局方ゟれ御心さ
しハれりまき御ふしめ明日も両寺え御ほまニて御代参御つとめ遊しれ
御表ゟ申入候来ル廿五日後月輪東山陵供被白餅五十枚折ゟつ二合
神酒二斤　瓶子二口　酒盃二枚　土高坏二本　鹽たい二尾　檜掛般一
脚　時菓二種　折櫃二合　右供備　高案四脚　勅使御進祭辰刻供進巳
刻以上註進如件

諸陵寮

右之通り御書附上候
一桂宮方ゟ御ふちんふりニ附坊門方初いるゝたれ
一今日仁孝天皇様御初方え御歳末御一所ニ御参り仁孝天皇様御花一筒上
る御位はい堂え御花一筒上る
一孝明天皇様え御榊一筒上る御位はい堂え御色花一筒上る其外方えハ御
くゝ里花をわきて上る

廿五日晴

一孝明天皇様御忌月ニ付般舟院え御代参三位御局方御備への御くわし御
色はな上る御心さしも有
一山陵え御代参三位御局方御参向
御榊上る御備への御くわし上る御位はい様え御色はな上る御心さしの
御くわし有
三位御局方ゟす書し御ふしめ御心さしふ参る是ハ被用ニて致上ゟれ清
水谷為今日御代参山陵計申刻比ゟへり御参り御するゝとの御事言上
有
一大宮方えまふの御見舞ま

御くわし一折ツヽ両宮様へ御内々の御くわし参る后宮様ゟ坊門様初へ
御内々の御くわし参る
一山陵へ御榊一筒大すき様二典侍様
筑紫町様長橋様
一命婦為
二命婦為
三命婦為
大御乳人
新權命婦為
大和との
前大御乳ゟ
一般舟院へ御色もな同人より上る
一三位御局様ゟ般舟院へ御色花一筒

山陵へ御榊一筒御備へ坊門様京極様ゟ
一山陵へ御榊一筒　般舟院へ御色花一筒御備へ　今日富小路様御初へ一
すゝ御くわし御いたゝきされ
廿六日晴
一東京へ明日の御使り御ゑみ汁出る
一明日坊門様御初きん米ニて三つ一分當冬分渡れ
廿七日
一大宮様へ御よを肴一折御内々の御みニて
ツヽ昨冬油小路様御初御拜借の
金子十両宛藤谷様小倉様常盤井様ゑさ様貫河為
夏引為り済ゟたる為し垣為　藤坂ゟ
返納有是ゟ盆暮ニ十両つゝ返納の御事申入ツヽ

廿八日　くもり

一今日御歳末の御祝き大宮様へ八米二十石御さき帯一筋御ふもし二反御内々御ゑみにて御白ちや二反まいる

一桂宮様へ御きぬ一疋御あら御内々御正月ゑし御地むら四季の花なとの御もよふ

一静寛院宮様へ御きぬ一疋御あら御内々御白綸子の御むく一まいる

一有栖川一品宮様へ御手本に附半金一枚御緞二疋御乃形一折皆御歌道に付候ての御ためうまハ當冬ハまいらせ候

一后宮様へ御留主より知光院様あら〳〵御頼に成御挨拶より御きぬ一疋千疋下され候

一同斷應修院様事ハ春より御頼にくとの外〳〵御用多つとめまいるに付御緞一疋ト五百疋外に衣代として金十兩被下候

一金二百疋つゝ御ゐとひれく山あい女え被下候

一金千疋宛坊門様初御留主のもの〳〵

一五百疋御ちこ為三百疋今參為是ハ當月廿三日に上りまいるゆへもろうに下され候

一金七百疋別段御用多に附五百疋お茶え

一三百疋つゝあゝたよ百疋なぞ是ハ御ゐとひ新座にあ

一三百疋別段御用多に附二百疋ゑたえ下され候

一三百疋さくてるゑの三百疋別段御用多に附二百疋ゐゐ波え三百疋宛高崎よし河ら兇浦梅津え五百疋別段御用多に付龜浦え戴らせ候二百疋御用多に附梅津え二百疋つゝ茶くみ兩人

一千五百疋東京御用に附あや波為初え

一東京御用に附三百疋つゝ奏者番四人下役六人女中衆な心附として戴らせ候

一當年な御ためう兇御もいしに成まいる極々御内々にて坊門様な御心附と

して下され候油小路様ゟ御願ニてきん山御ふうしの人え御祝き千疋つゝ盆暮ニ下され候やう盆ハ大宮様ゟ當盆ゟ下され候暮ニハ此御所ゟ出され則千疋出る
一今日御表大すくれ御茶分ていニて坊門様初大すき様御初御参り合ニあ為先の小路様匣小路様御戴候之
一大宮様后宮様兩宮様御茶御まちニて上る是ハ明日かの〳〵

廿九日晴

一大宮様え大すくれ御茶参る前大御ちゟすみニて兩宮様え同斷参る
一大すくれ御茶蓮観院様信敬院様
観寶院様　應修院殿　知光院様
孝順院様　妙染院殿　弘誓院殿
富小路様御初　常行院様　蓮徳院様
一京極様　圓照寺宮様御寺御所え
一伺えれし一同え御茶下され候
一大宮様え御歳暮ニたふきん上之所御ていしニ成當年もすみ計ニて御祝ま申入候
一兩宮様えハゑふ一折つゝ上申候御祝きも戴候大宮様ゟハ御祝き被下無
一静寛院宮様ゟ御星御返上まよしえ出る
一華頂宮様三寶院宮様ゟ御歳暮の御祝きなさい一もこづゝ御献上
一圓照寺宮様ゟこんぬ一折歳末ニ御献上御寺御所ゟこんぬ一折上る
一桂宮様ゟあん一折御献上御すみハ東京え御廻しの由之

三十日

一金子五兩京極様え御心附とし遣
一三百疋つゝ富小路様篠波との御心附として下され候
一明春のうきとりハ東京ニてはふきのへ候御留主二内侍様初より御しうぢ金貳百疋つゝきん上致候やう東京ゟ仰参る則二百疋つゝきん上致候

一明春ゟ東京にて日〻之御日くう出かね候ゆへ宮中にて出ル御日くう八元日ゟ出不申朝夕御膳御間物ハまゝ東京ゟ御返答あふさ候ハ先〻其まゝ出ル一寸〳〵宮内省なゑ御相談申ル所先〻出ルて御よろしくと申入め〳〵

一大宮なゑ坊門な初ゟ御歳末の御祝き申入両宮なゑも同斷御歳末の御祝き后宮なゑ参る夕らさ御ちふし上る

一清もふいよし田なゑせしこしの御盃御こんぬなもにて御設計

一御座ゑ御歳末の御祝き申入ル當年の御茶もん坊門な新典侍な富丸な御戴ル之御くもしれ書附例之通り御茶ゑ渡ス

一坊門な御初御局ゑ御歳末に参る串口にて御重肴にて坊門な初御盃御通り有何事〳〵御ほる〳〵とめて度し〳〵〳〵

補遺

嘉永七年
四月六日より
五月中
御炎上の御時分の
心え

甫子

四月六日

一今日午刻芝御殿出火と申候内内侍所ゑ火移り夫ゟ涉所取合廊下小御所ニ火移り先〻内侍所御立退あふを而御所劔璽なしはし下賀茂ゑ御板こしニ召され御立退あふを而准后様も御立退御浸る〱とあふを而和宮様御逗留ニ成ふを候御板こしニて下賀茂ゑ御立退あふを候先〱御機嫌よく下賀もに成ふを候

敏宮様祐宮様門院様ニ者下賀茂ゑ御立退ニ而あふせ候大に者様初三仲間揃候て供奉致候併何事〱御間もなくきりへに陸ふのまゝニて尤もさしニて出候ありれ無きれり此うへの事と申合候

一下賀茂ニて一寸御膳御手附候

一関白様御初をなさ様も御参り

一未半刻比聖門様ゑ迁幸成大に者様初御供をなさ〱も非常のりつま白なてを家來とも

下賀茂え持参りさつそく白らつまにて聖門様え参る
一大すけ様新中納言典侍様長橋様ゟ下賀茂にてはこし申附候てはこしにて出之
一蓮観院様ゟ下賀茂え早〻はむもひはふしめは茶ゑんはもし参るさつそくはもふれ申候近衛様よりはもんは重之内は表御内儀え旨
一霊らむしれ宮様瑞龍寺様ゟはもんは重之内参る所〻より御機嫌伺まは菓子は献上る
一敏宮様和宮様門院様ゟ青門様えは一所に成ふをの〳〵
一准后様祐宮様ハこあさは一所にてあふせの〳〵先〻はらく別は動し様もあふせゝれ候御うちまに成ゆれ御摂家清華宮様方は詰之伺えれしとも御詰仰出され候出候は品とも夜に入追〻（脱カ）持参る女中三仲間も丸焼にて

七日

一関白様御参　所〻より御機嫌伺には献は菓子きん上有青門様よりは絹十疋は繻子一反上ゆ〳〵大すけ様始えは絹一疋つゝ被下候

八日

一内府様ゟ白縮緬白めんはえし一疋つゝ細物類いろ〳〵はおほくはともれ賀為大は乳は戴候をあさえはおほくみき申候

九日

一政所様よりあつえなよ大すけ様始え下され候
一九条様ゟは重之内は絹一疋つゝ大すけ様もしめえ参る
一聖門様ゟは重之内九こん大すけ様始参る
一青門様ゟ小さふは茶ゑん平茶ゑん平附あしうち大すけ様初参る
一霊らんしの宮様ゟは重之内あつえ一筋つゝ大すけ様初え下され候　豊岡大蔵卿為とのおら〳〵むつらしく　楸丸為は下りに成候

十日

一瑞龍寺様ゟおさ附は茶ゑん紫文縮緬のはふくさ一つゝ大すけ様初え参

る
一妙勝定院宮様ゟ嶋繻子　さして色非縮緬のおもし一筋つゝ大すき様初え
□下され候西本願寺ゟ
一金千五百疋つゝ大すき様御初
金千三百疋つゝ内侍様らうえ
一金千疋つゝ　れと為初
一銀廿枚　局家來一同え

十一日

一所々（脱カ）御機嫌伺献上物有

十二日

一關白様ゟ大すき様始え金子二百両参る此金子十両宛大すき様始え同三両つゝ御児二らふえ三仲間中え同三十両御すみわけニ相成候外ニ白縮緬三反御はえし二反さふしめん一疋御紙類いろ〳〵御煙管數〳〵御宮

くは二ツ大すき様初え下され候

十三日

一今日は御代香御表え仰出され候御香御もち参る
一關白様ゟ大すき様始え片あしの御長持一さほつゝ参る

十四日

一桂宮様の御殿此度御仮皇居ニ定め〳〵今日遷幸仰出され〳〵所一（いカ）らう〳〵雨つよく御延引仰出され候

十五日

一今日ハ晴ニ成遷幸仰出され候
一午刻比内侍所様成らせられ
一御遷幸成大すけ様もしめこしニ而供奉致候着用物ハ綸子もさみえ　三仲間ハ白あもをニてらつき着用無
一内侍所様きれ初も白あもを着用するわけ着用の所間違ニて着用無此後

ハ着用致候事之大すきさま初三仲間局の人々こなた御行きつにつゝま参る夫ゟ准后さま祐宮さま成らせ候祐宮さまハもくに中山殿え御預ケニ成候日々色々献上物有三仲間も着用物焼失致嶋物着用願候ニ付めんを候

一今日朝御をん出候所もの類焼失致御文こみ付遊ばし候もの取出しニ相成候やう御表ハ仰出され候へとも今日ハ出不申明日ゟニ相成候

一聖門さま御跡ゟ附ニ蓮觀院さま秋寛院さま信行院殿御参り也

十六日

一月ふく日ニ附御常御殿代御殿つゝみニ六位廻候

十七日

一今日より朝御膳出るものハこわく御の五衣のかとへ衣を出され候

十八日

一敏宮さま今日一門さまの御里坊をあ梨召され御機嫌よく還御成せ候和宮さまハ橋本殿ハ還御成門院さまハ御殿御焼残りニ成候御機嫌よく還御成

一敏宮さま御始さま御機嫌よく還御遊ばし候めて度御よをさら肴一折つゝ去んを候大すきさまそしめゟ御肴御三ゟらさまえ上る東本願寺ゟ

一りつを宮し一箱附物御むし九こん上る

十九日

一新待賢門院さまよりおよ梨さま御機嫌伺の御使ニ御参り御肴一折上候

一敏宮さま此さひ御丸焼ニ而御不自由にあらせ候とて御縮五疋御肴ゟ三百目去んを候

一今日諸司代参内ニて御内々御對面御こし御もら海ニてあらせ候関白さま御前ニ成らせ候御表ニて御釼給り候右京大夫ニ而長橋殿え御禮申入候

一青門様は参りは對面ある
一關白様より色〻上りまいらせ候
廿日
一敏宮様え關白様より御蚊てふはなも共一もり御掛手水具一もこは煙草
ほん寄木築さん一もこは硯もこ一もこはもゝりなさ一もこはあみなる乃焼
はまはなり一もこゝふ金は手あなり一もこは紙棚一もこ御文こに羽二重
三疋御縮緬二巻玉なくの表二ツは形あ三くゝ呈奉書三帖杉原十帖美の
紙十帖小きく二ふくはなくは四ツはせんは三本は屏風大小二双ふく火
もり二もこは玉よく臺桑にはまきへ二對玉んちうは小玉よく一は燈臺一本
は手玉よく一ツは乃るあらり一ツは油さし一ツは次用小さゝ五十枚御
卓一ツ御長さ余に入玉んを候
廿一日
一准后様は参りあらせ候はよを看一折上まいらせ候　大はき様もしめえは

重之内下されは
一初夜半比は暇あらせ候お為様始は小姓まて御共ぬ一疋つゝは為と
ひの上臈え細染らさひら下されは
一此比世上ゆろ〳〵れ風聞致はゆへ今日より内侍所に一七ヶ日のはすゝ
上りは秋葉寺に火さいのあらせ〳〵ぬ為う天下太平は壽命は長久の為
うことは祈禱仰附候油小路為召されて仰附候は初尾銀三枚出る
一内府様方はなみにてあめ君様方は文こゑ内に色〻入上まいらせ候はよをさ
ら形も上まいらせ候
一近衞様より湯殿の具大はき様始に下されは諸司代より御機嫌伺には杉
折は菓子上る
一御炎上の節のは余うひふは表に而三條大納言為橋本大納言為坊城前大
納言為え
一銀二枚宛下されは

廣橋大納言殿に
銀十枚下され候
一近習出精の人〻に
銀五枚宛下され候
　　非藏人に
同断下され候　口向も夫〻へ下され候
修理しき　德岡
　　　　　典膳
　〃　中務へ
金五百疋宛下され候
一此度内侍所御立退あらせられ節さ候かく別の出精に付銀百枚被下候
此金此たひ御炎上に付千金仰立られ其の内にて下され候

一金子十両つゝ　三仲一同へ
〃　五両つゝ　むつらを　両人
　　　　　　御ゐるとひをも
〃　三両つゝ　中居四人に
戴ゐをれ候此金御文こより出していさゝらをれ候
諸司代より
御機嫌伺御杉折御くわし上る
　廿三日
一近衛殿より御花生御杉折御菓子上られ音羽御所上﨟御参りにて御文
こみ御あき物上られ女中へ御文こなたこれろ〳〵下され候
一関白殿此度御炎上に附色〻御見舞とも御申入あらし今日御前にて半
金三枚御縮三疋ほんをられ大はきなそしめ御すくひみ金十五両宛下さ
れ候所先に七両つゝ戴候

一観行院様御参り
一昨日秋寛院様信楽院為御機嫌伺ニ御参り之
廿四日
一くふ法御代参　宰相典侍為御札らふり和進上蓮観院様寂静院様
御機嫌伺ニ御参り御仲間御炎上ニて類焼致しニ付御願有
一聖門様方迁幸あふせまいらせニ付其後關白様近衛様青門様より御きん上物
有
廿五日
一和宮様より御機嫌伺まいらせ御花生御薄板上まいらせ
一白かね十枚大すき様始下されし
同　七枚三仲間え
廿六日
一今日は御代香観行院様え御頼御香御花参る御代香ニ付御供人御弁當ハ
こなた口向より廻りし金百疋御戴かせあそはしし
一近衛様より誠ニ〱御内ゝニてくもら法料として金十五両つゝ大すき様
始え下されし
三頭は
金十両宛　三仲間一同え
ハ七両宛　御るとひそもは
ハ三両宛下されし
一御寺御所百ゝ御所上臈召され御黒戸御預ケれ御事御頼ニ成御筒花上る
明日より御もみ廻りし上臈らさえ御くねし御間物出る
廿七日
一敏宮様え上りし御棚一箱半金一枚ずんじまいらせ此程上りし御緒五疋御な
の三百目御文こ御多くは御らミれろ〱参る
一和宮様え御緒三疋御なの二百目上りし御小机此程御暇の御時分ずんじ

めて度と仰附めて度御地赤のおまし御燒殘りに成まいらせ候
御一所にまんをめて度
一准后様三の間え銀十五枚被下候
一桂宮様ゟ大すき様御始長もし様まて
　銀　三枚宛　　中將内侍様始
　〃　貳枚宛　　伊豫殿初
　　　　　　　　するかとの
　　　　　　　　御兒二ちさは
　〃　一枚宛參る
一　金貳百疋つゝ　三仲間一同
　　　　　　　内侍所さんもしめ
一　銀五枚　局の家來一同え
　　　　　　下女十三人は

銀一枚下され候
一御機嫌伺に梅仙院様應修院殿御參り御肴三種進上大すき様始え中の元
ゆひ小ひんさんおもらひ申候
廿八日
一朝御盃參る門院様え御よを肴御くわし御手あまり一もこ參る
一門院様ゟ御花かん御花臺上まいらせ候大すき様もしたは白らう十五枚參る
一白銀十枚　三仲間中え御使梅さ參る
一青門様より御くわし二色　上まいらせ候
廿九日
一今朝より御なる方さ御中入申させ候玉龍院様心淨院様御初御機嫌伺に
御參り御乃形御うちわ進上
三十日
一聖門様ゟ御庭の御花御菓子上まいらせ候御使御乳參る御煙草入御盃戴かせ

れ

一明卯刻日そふく二附今晩御殿包常れ御殿代ハ六位廻候

五月朔日

一卯刻日ふく内侍所え御神くうれ渡御まてハくうしん次御清さ事御拝も御沙汰無日ふく二付門院様え今日の御乃祝明日参る今日大すけ様初もちはいえ御禮申入ニてもちはめんを候参賀とゝめ候祐宮様御れいり御炎上ニ付御ふセん次此度赤もへまこんせんすニ而三本御なしるひふ櫻ニもゝ参らんニてふ三つさんを候大すけ様長橋様大御乳人御ちふと一らしら御長刀一ふり三人ゟ御一所ニ致上候するよとの人御長刀一ふり進上

一こよひの御盃御設ニて御表えも差し申さぬ事申出候

二日

一門院様え昨日の御さ祝一折宛

一祐宮様え門院様より御れいりもへまとん次一本御なし櫻ニせふうちわさんを候当年ハ御なし計ニてはふを候へとも御類焼ニ而御れいりもさんを候

一准后様ゟ御なとん次御のれり御なし三ケい花笠なされ一箱さんを候宮様ゟなされ一もこその御まゝ御返しニ参る

一御炎上ニ附将くん様より牛金五十枚御絹三十疋御屏風一双さんきん関東使小御所代ニ而御對面天もれ給ふ女中衆え銀五百枚長橋様ハ　い五十枚参る関東使ゟ御太刀一腰御馬代金一枚進上ふく日御暇　参内殿ニく紅白御縮緬十巻被下候

三日

一御本殿の御文こえ長橋様大御乳三仲間も宛

四日

一輪門様ゟ御炎上ニ付御機嫌伺〳〵ゟ桑の御棚一もこ　上〳〵　關
東より女中衆ニ参りハ五百枚配分大すき様初するゟとのまて
銀廿枚つゝゟめ丸なえ　ハ五枚なき丸なえ　ハ二枚
ハ百五十枚三仲間中え　ハ壹枚宛御なとひ両人小とも三人え同斷なつ
ゟさ両人同斷中居四人ニ
一知光院様梅芳院様弘誓院殿御機嫌伺ニ御参り御まゐ硝子御花附一對進
上

五日

一朝御盃皆朝ゟ見ゐ御沙さ無
一准后様ゟまゐ一折二種一荷上〳〵
一こなさゟ　御引こけ御附帯一筋御すゝしうふ御みニ而参る
一敏宮様え御縮一疋御繪よふ仰参る御ふほひなくろハ御焼失ゆへ也なさ
様え〳〵（も脱カ）御

一和宮様え御縮一疋御繪よふ仰参る御藥玉参る
一門院様え御さき帯一もし御表ぬ一疋参る
一門院様ゟ御菓子一折上〳〵
一宮様ゟさゟなされ一もこ宛上〳〵
一祐宮様ゟ准后様えなさい一箱参る
一准后様ゟ祐宮様え御くす玉なされ一もこ玄んもの〳〵
一小御所代ニ而参賀御對面成
一夕ゟさ御盃御設ニ而御表えも申出る

六日

一今日御代香御表ゟ御香御花皆済炎上ゟ今日三十日ニ成世上おさやゟれ
なうに内侍所え御すゝ参る御初尾白ゟゑ一枚皆

七日

一御炎上の御時分御大事れ御品とも宰相典侍様督典侍様中將内侍様少將

內侍様ハ取出しニ附ハ夂ふひニ金子千疋つゝ下されハ尾張中納言ゟ

一御炎上ニ付
ハさゐや　五十卷
美濃紙　二百束　紀伊中納言ゟ

一ハ紗綾　五十卷
吉野紙　二百束　水戸中納言ゟ

一縮緬　三十卷
和紙　二百束
きん上

八日

一敏宮様和宮様門院様へ昨日上りハ美濃紙二ふくよし野紙五ふく参る

一青門様へハ美濃紙三束旨觀行院様ハ初ハ美の紙二ふくハ野へ二ふくつゝ知光院様ハ初同斷旨

一大にさ様初ハ美濃紙三束ハのへ三束よし野紙三束ハくもりニ成

九日

一此度御炎上之節聖門様へ去もふく成ふせられニ附右ハ挨拶ニ半金二枚ハ小机一箱ハ使殿上人ハ参り

一關白様へ關東ゟ去んきんの半金五枚ハ紗綾三卷ハ紙類五ふく参る

一准后様辰半刻過ハ参りゐふせられハ菊形三種上られ

一御內類焼之分勸使以下侍分二十二人銀四十四枚仕丁頭以下末〻まて六十四人之內へ銀六十四枚ハそ〔く脱カ〕ひニ口向より下されハ処申入之

一祐宮様ハ炎上の節ハ立退も御機嫌よく成ふせられ中山大納言様ハ
金五百疋　中將様へ
〃三百疋　野宮大納言様へ

〃三百疋　同中將殿え

同斷

一御紗綾一巻つゝ　眞光院殿
おなん殿
おさく殿

一金貳百疋つゝ　若きしゆ
御ちゝは

銀三枚　中山殿家來中え

一銀三枚別段二百疋　山しな 仙壽院え

〃二枚　西尾 安房介

〃一枚　御用掛り代 中詰一人

金貳百疋つゝ　使もん三人

鳥目三〆文つゝ　下掛り二人

〃壹〆文つゝ　非常附仕丁四人

〃二〆文つゝ　御こしの者四人

一三百五十疋　還御供奉 使もん七人

壹〆二百文　御輿之者 八人

九百文預り　三人

一御紗綾　一まきつゝ

金二百疋つゝ御用かゝり取次は

一内府殿え　關東よりの半金一枚御美濃紙三ふく御すふこきニ參る

一准后殿え　御下り中御尋ニ御まき三種參る

十日

一近衞殿え御美濃紙五ふく御紗綾五巻遣

十一日

一聖門殿え御美濃紙三ふく御紗綾三巻くる

御すふこき之秋丸ゟ薄清ニ成申され上ケ〳〵
一霊かんしの宮様ゟ御ゐさしの御紙入一組御ゑしつま二ッ御庭の御ま光
上ケ〳〵　大にま様初御きれ〳〵物色〻下さるゝ上り候御紙三本く御紗綾
二巻御すふこきニ系る東本願寺隠居ゟ御衝立屏風一そこ御はり玉一そ
こ御時計一そこ
一近衛様御傳献ニ而御肴も上る
一和宮様観行院様御逗留中ニて御類焼ニ成御紗綾一巻金五百疋観行院様
え被下候前御ちゐ　い三百疋附帯一筋被下候きれ初五人え　い貳百疋
下され候

十二日

仙臺より
一御衝立一そこきん上宮様らさえ松風一そこ上る
一關東ゟ御屏風二双上る

一祐宮様ゟ御節句の御返し
本さんてふの御なし一本
大にき様え
櫻ニすゝ御なし　一本
長橋様え
花らち　一本
大御乳
御らふと　一らしら
するゐとのえ
金二百疋權すけ様え
一御よきの御なし中山様え御内〻ニ而御用掛り戴の由也
一こよひ御別殿あゐふ御沙汰無

十三日

一今日の御代香御表ゟ御香御花遣
十四日
十五日
一關白様ゟ御ぞんし茶の御道具色〻組立の御事よく二對むしんとふ御弁當御肴入一そこつゝ御蠟燭一そこ御とん〻三卷御よそさり形一折上まいらせ候
一聖門様ゟ北う主上まいらせ候大にき様初下され候御使御ち参る成ふせまいらせ候御時分何りと〳〵御そ話申され候ニ付御縮緬一卷金五百疋下され候
十六日
一御機嫌伺ニ御菓子一折きん上　所司代より
十七日
一一条様御父子御類焼ニ附御絹三疋奉書ニて参る

一明日内侍所御仮殿こぼくり初ニて成らせまいらせ得とも御火ゟへハ成らせられ御夕ゟさゟ手あしさくしや出さるゝ
一關白様ゟ平煙草入十五面大にき様え（始脱カ）下され候
十八日
一内侍所御仮殿こぼくり初ニ付御菓子一折為乃をし御初尾白ゟ壱一枚参る
一御夕御膳ニこまく御御吸物御重肴御もゝ出る
一關白様両役修理しき奉行ゟゝ梨の人〻口向も御祝酒出る
一御内〻出御成らせまいらせ御供大にき様始参る
一有栖川宮様ゟ御衝立一そこ御書棚一そこ
一帥宮様ゟ御硯さん臺一そこ上まいらせ候御絹一疋宛駿河との御両頭様よゟ大御乳に下さるゝ
一今日上下御靈北野平野御代参御湯立右京大夫え頼申候御そつを例之通

り

十九日

廿日

一桂宮ゟ迁幸ニ付御時分蓮観院ゟ御てつたい御跡らさつきニ御参り口の三
仲間六人ハ跡らさつき御先廻りニ参り〳〵ニ附御紗綾一巻美濃紙五帖下
され候三仲間乗え金二百疋宛下され候〳〵し

一御初め候人〻ニ
銀三枚つゝ　藤木三河守
別段三百疋　〃近江介

一同断　山本大らく守
高階あまの守

一同断　伊良子

一金五百疋宛　保生院

仙壽院
西尾
藤木出羽守
高階丹後介

是ハあらさこあさの非常附ニ而御初めハ致不申候ゆへ五百疋被下候

一金二百疋
別段三百疋何らと〳〵御遣立ニて被下候

一御表ぬ一疋つゝ　山本大らくの守
〃ふ子
両人ハ七ゆへ御内〻下され候

廿一日

一近衛ゟ方御溢り　二もこ
御よをさら形　五種

上まいらせ候

廿二日

一御機嫌伺に遠目かね上る　西本願寺ゟ

一青門様近衞様御参りニ而御對面遊ばせ候

廿三日

一御炎上ニ附御紗綾二十巻蠟燭三百挺きん上　伊賀少將ゟ

廿四日

一青門様より御きん臺一箱上まいらせ候

一普明淨院宮様御廿五めくりニ付白かね五枚御備へニ御寺御所に参る

一御寺御所え御代香新大夫参る御香御花参る

廿六日

一今日御代香觀行院様え御頼金百疋下され候御弁當御供の人口向より廻り候御香御花参る

一普明淨院宮様御廿五めくりニ附蓮觀院様え御尋ね御知し下され候御用掛りより願ニて御寺御所えも御く知し旨

廿七日

一八講布　百疋　松平加賀守

一蠟燭　一箱

串鮑　一箱　松平越前守

一奉書　五十束　松平讃岐守

一羽重　二十疋

鹽さい　一もこ
松平隠波〔岐カ〕守
一羽重　二十疋
鹽さい　一もこ
井伊掃部頭
一羽重　二十疋
御箱肴　二種
松平肥後守
一蠟燭　千挺
御箱さり菓　一もこ
松平下總守
一羽重　二十疋
鹽さい　一もこ
松平越中守
一羽重　二十疋
鹽さい　一もこ
堀田備中守
一羽重　二十疋
鹽さい　一もこ
酒井雅樂守
一羽重　二十疋
鹽さい　一もこ
酒井修理大夫
一此度御炎上ニ付ゐ乃りれ間の人〻ゟきん上有
一今日上りれ奉書　十帖
蠟燭　五十挺

一敏宮様　門院様へ参る　一疋宛
羽二重　一疋宛
八講布　一疋宛
奉書　十帖
女中御くもり之三仲間中ゆへ
一御紬一疋つゝ八講布一疋奉書　十帖つゝ
御さとひ二人とも三人なつりさ二人御参ぬ一疋つゝ八講布一疋つゝ被
下候
一内侍所　それ采女始へ
一　御参ぬ一疋つゝ八講布一疋つゝ奉書十帖下され候
廿八日
一観實院様遊成院様蓮正院様容正院とのニハ類焼ニ付御紬一疋つゝ下され
候孝順院様へも御紬一疋下され候是ハ此度火出しゆへ両頭様の御心に

ニ而観行院様へ向御戴ゐを相成候
一御機嫌伺ふ秋寛院様妙染院様御参り
一此ふな類焼の口のちもつの人ゝに八講布一疋つゝ下され候
廿九日
一御寺御所御預ケ御黒戸に般舟院ゟ上り候御花御備へニ参る

嘉永七年

八月朔日より

御盃そのほかいろ〳〵の心おほへ

前大御乳

嘉永七年

八朔の御盃

毎月朔日の御通り能かゝおもなろく被為ま御献ニ出る

一　御盃かもらけ御かちんおもな累く被為ま御てうしなくる

一二献目ゟ色のこん御てうしなくる

一三献目くさ物御てうし御くこゐなくる

一三献目御酌なか橋殿之御盃かもらきハ一枚ニて宜しくれ

一女中れこんを朔日れとをり御かちん計之　御ちこ駿河とのハ御こん無
御盃御とをり済れて女中衆計朔日の御通りすれ〳〵ニて御と被り有御
小盃ハ出不申

一仮殿中ハ御所ならでん候男かさハ差し不申

一八朔菓御ゑう記ま關東より御馬きん上御返しなちもおれうち枝ニ御な
ま物を入そのうへをなほ奉書丸ふき紫ニて大かさハなさ七ッとり四ッ

小のりさなさ六ツとりニて御かされうへめさせ候そこより出ニて皇へり
申候之うち枝乃中程白紅水引ニて皇へり候是ハ長橋殿あ不もし候大御
ちハてつさ候致候之
一御拝ならせられをつゐ遊こしれをつ表使ニて明朝より出御もれならせ
られ事儀奏衆え申出し候
一和宮殿え春秋よ御きぬ四疋さらしめん二疋夏のさらし四疋乃和さ三百
目と和さ一貫目おもてふ乃御かくハこ取さニて致候此外少〻れ御事ハ
三百石御れ為ヽまニ成られゆへ宮殿ニてあ不もし候ゐうニ相成候

八月九日

一明日樂修院ニて中てんニ付御備へ白銀二十枚出され候御臺ハ附さんニ
てハ無御包致のをれて傳奏衆え御渡申候
例年ハもん金二枚出され候へとも今年れ御事ゆへ二十枚ニ相成候
一今もん御く和しこしらん出し候

をり物五切數物三ツこんぬ添しつもきもち

八月十五日

一月御覽ニ付御盃一獻參る御れをあも
一御さんゐうニ御れし御盃あもらけのを出る
二御れ出
三おも
四御てうし御くわゐなくる御てうしえんちゆう両口之なる九こん之
一獻ニくも三こん御酌致候
准后殿・女中衆御と狀り有御盃すミられ清涼殿代え出遊成おもニて月
御覽なふせられ御盃ニ出候おもをもちの御もしニてあおをあきれて夫
より月御覽之
准后殿　女中衆も月を見る御盃の催し仰出されへも御表え表使ニて月
御覽乃遊かをりり申出し候程とれふ御よ派しきよし申入有程とれふ出遊
と申事ゐ御盃の內ニ表使ニて申出る御盃濟られ夫え出遊と申候事御ち

ここて仰出されれ今ともんの御こんハ伊豫ゟより例年上らせれ所今年ハもハらりれ由ゝさしにて出來りまれゆへ御こん計ハ御用ニて申附ニてよ依しきよし長橋ゟ御申也准后ゟ宮ゟりさえハ九月実をつめて度一所ニ上の〳〵ても宜敷と長もしゟ御申之大すきゟ始えも九月のをつ一所ニゐきら上れ之

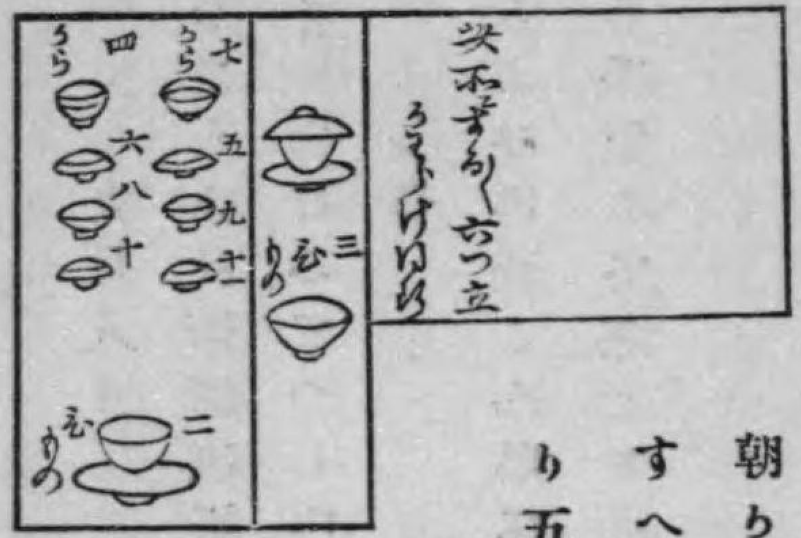
十八日

一御靈社御祭りニ付敏宮ゟ和宮ゟ祐宮ゟえ御れもひ御重に入参る
一新待賢門院ゟえハ口向ニて御重ニ詰れて長もしゟの御ゐのニて出る
一宮ゟ三方ゟえハ伊豫ゟ実ゟみニて参る
一關白ゟえハこわく御計御重ニ入大すきゟのゐニて参る
一御表え御重ニすもし御乃形御ふし兊入出る非藏人ニもちニすもし御乃形三色御ふし兊入出る
一御靈社えハ御祭りニ付御代参使もん参る御もつ尾金五百疋つゝ也
一夕りさ御盃こんぬゐもこわく御の御こんニく一献参る　女中衆計御とを雲有

常〻御代ニてゐふセの〳〵御てうしえんちう兩口之女中衆えもこわく御のこん有

廿七日

一三條侍從ゟ元ゟくニ付天もれ給ふ御盃りもらきハ小の之御對面ハ御所ま〳〵ゐふを〳〵ん〳〵御沙さ無御表え仰出されれ



朝りせゐくうしゐうハ圖の通りすへしゐうハ三より二二より壹すへしれその跡ハ四より五六七八九十十一重くすへしれ〳〵る〳〵高も雲出る跡小りとらき四ツのをむられもん出るすへさ〳〵すきゟ方御もし御もへし夫方すへし其跡へ大の平のもん出る其うへ典侍ゟ方御くうし物御すへしそせニミ形〳〵すへもぞしハ二度めくうえんよりすきゟ内侍ゟえ上る大御乳もさ〳〵

九月八日

一きせわたれ菊清涼殿代西乃御みんきわへうへきゝを例之御通りならせ
られ九日ふてつし御菊わた白赤黄壹つゝ殘し置れ御花さんのれたゝま
のよし也

一こよひ御盃こんぬなもにそ一献参る女中計御通り有濟〳〵菊れ御お
お御免させ遊ばされれ女中しゆ御菊わたいたゝかれて免させれ

九月二十二日

一祐宮様御誕生日にてならせられへ共御二度めにて内侍所え御すゝ上〳〵
頃是御もつ誕生計也

十月四日

一亥猪に付夕かた小御所代にて御盃御三献乃いる一御盃かはらけ二御き
んしやう二臺次に御津く〳〵上る初よりなとへ衣着用にて中段密口まて
持参る御もれをん御手なかたかき帶之御津く〳〵濟〳〵まできぬ着用
のまゝにてなかへ居れ
准后様御つく〳〵つま〳〵内侍様御衣れ御袖抜ひ〳〵次に下段にて
御つく〳〵すけ様内侍様かた津ま申さるゝ衣の袖をおひ申れすゑれてす
へし衣抜ぬき御て御うし下さまりもふき上る一献の御とを事有大御ち酌
之

一二献めおへのこん之御かはらけ上る次におへのこん上る御てうし上御
通り有

一次に御三こんれをかちん御てうし御くわゐ上る御三こん旨御通り有御
もちき下されゝ御酌なか橋様之すけ様始の御通りの内又なとへ衣着致
れく伊豫殿もしめ御つく〳〵つま申さるゝ着用の衣の袖をおひ申れ御

ちこりさもつま申さるゝ駿河とのも同断
一御三こんすへ参とて兒らさ駿河との御もちき下さるゝ御きんしやうす
へりれをつなとへきぬにて中段の口まてすへしに参る御仮殿ゆへ男ら
さハめし不申女中計之

十日

一朔平門院様御祥月ニ付朝より御内々修ゞ日御精進之御せんニ御ふふみ出
る御内〱れ御事ゆへ御清め御湯ゐはらせまいらせ候
一明日伊勢れ御法樂ニて御こし後ゟ御清き火りハる
一せん山え御代香御花香旨備への御くわし御心さしも有御備へ白銀三枚
取次え渡ス是ハ前ニ出ス今日れ御もな下り計也女中衆よりれ御花ハ十
三日上れもんし院えハ御代香無

安政三年正月御年玉おぼえ

一准后様え御好きを小町形二銀の御ひらき附まんをの〱
一新待賢門院様え御好きを三とく二御とり初御文ちんら御水入ら添あら
橋様
御使もしめれ御時分ニ参る
一敏宮様え一番白會ゞ御文こおくもん附御盃にちよく一枚つゝ入上る大す
きな長橋様れ豫為大御ちよりハ御盃二枚つゝ新中納言典侍様御もしめ
ハ一枚つゝ也
一和宮様え御ちこ人形一毛うへのれぬ一二番白會文匣ニ入大すき様始ゟ
上る
一祐宮様え白ゞめん一疋御人形毛うへはふき三本大すき様もしめゟ上る
一准后様え御手はあ参一箱大すき様始ゟ上る
一新待賢門院様え御弁當一箱上る
一關白様え三とく御紙入三ッえ内黒ぬろと一入こもをハゐつらうゑるま

物三色そへ上る黒無地一もんの文匣ニ入大すけ様始より進上申候
一聖門様御もしめえ御なもこ七包御なもこ入三組黒無地御文匣ニ入進上申候
一妙勝定院宮様え一もん白會御文匣よ御なもこ入七ッなま物三色入
一靈りんし御宮様え御兩頭様大御ち駿河との方御人形御ちよ御なもこ入御小文こニ入上る是ハ毎年もちよ云ニて御座候
一　奥よ云ハ
一關白様えハ御紙入三とく三ッ外様ハ御紙入三とく二ッヽ
一妙勝定院宮様え小町形御紙・〔入脱カ〕一組御ほまら箔の御きせる一本参る
一靈りんし御宮様瑞龍寺様え三とく御紙二ッヽ参る
一舞御覽御盃御三獻　一御三ッさかな　二御なまりちん　三鶴のこん次ニ御てうし次ニ御臺さかな次ニ御くもの御通り有
一御ほくもへの御膳

一御一二三次ニ御ちきろう次ニ御一すゝ御口葉も云次ニ御湯上る御もんせん御手なる御通り有御くわしハ御あと御なまりへ也
一春御當座始御くわしを参物五切　數物三　こんぶ
一御傳便後御當座始もゐとお花し御事
一御常御座ハいつも三切の數物三ッこんぶ外ニ御すゞ方たに御くわし出る
一舞御覽御能御くわしを参物汁七切こんぶ
一をん参う講の御時分御くわしを参物七切こんぶ御参りのり〳〵へ出る
一月〻渡し候方てすゝ御方く所に筆四對れうなるうのすみ一てう竹すみ二てう
一女しゆえ渡候分筆三對すみ二てう

六月十四日

一誕生日御盃の御時分女中衆す〻しうらもさみなき帯也
一御もんせん御手なゐ役ゟうす〻しうらもり伝之大御乳ハ別段御盃下さ
れ〻
一きおん給ニ付
一竹御所ゟきよむま献上なるよろと附合女中一同いたゝまれ
一御祝酒女中衆戴候
一御盃乃御時分准后宮御出座ならせ九候
一
水無月
一夕かた御表よりきよもらひくしれ御事言上有清もらひ仰出され御くし
れ御ゆ御行水参る御湯の御間ゟ御内ゝ出御の御ゐきり坐御盃の御をよ
うし表使ニて申候奏もんの内侍宮御廻り申参るなとへ衣ニて御通り之
清もらひ済〳〵御ゐきり坐御よ済しき御事言上有夫より出御成朝か
きゐニて御なニめし〳〵すき宮たなとへ衣かけ帯之内侍宮ハなとへ
衣着用御返る〳〵と済〳〵入御成大御乳なとへ衣着用致　御なを
茶ならよりうきとり内侍宮ハ上る夫より准后宮御中段ニて御なみめし
〳〵御なとへ衣之下段ニて女中しゆなニ入申されゝ済候て御表の衆
なさしニて御ニ入申さるゝ
一御盃二献参る初の一献二こん御酌二献目ニハ三こん御酌致候事

安政五年二月二日ゟせんなう講
朔日御内見朔日ニ御花ひら六百枚出され候御料乃ハ御表ニて出來候六
百枚ハ所ゝより上候れニて致候
初日もなむふ三百枚出る
第二日脱カ
一第三日三百枚出る
一第四日三百枚出る

一第五日三百枚出る
是迄〳〵前日〳〵に出され候
一梶井宮様御導師ニ付御きぬ三疋白銀三十枚別段白銀十枚附られニてハ
無御包致候ニれを五日ふ御を話卿なろ橋為はすゝれ口ニて御渡申
候御きぬハ奉書ニて出され候
白銀　　五枚
白ちりめん　　二巻
右御導師代え給ふ是ハ儀奏しゆえすゝの口ニて御渡申候
一御中日ニ乃ん一折御導師代は給ふ是も儀奏しゆえ出る
安政六年五月二十七日
正月御延引の出御始なふせの〜御時分の御くわしれおゐへ

さし出の候ゐ	三
花の香白なとう	三
きんしなめ	二

こんぬ五枚
正月ハたこしニて
御延引ゆへきんし
な先也
一准后様えもおなし御通りニ附候
一萬延元年七月十六日御桃燈の御花くも出
一上御靈社は櫻をきられ一
一下御靈社は紅梅をきられ一
一北野社は津ゝしをきられ一
一壬生地そう花手をけ一
一先るミれ地そう花生一

一葉山觀音花らこ一
一太田社は少本さんをたされ一
一赤山少本さんをたされ一
一を雲紅梅をたされ一
一ともらこ何ことも長橋殿え今年より毎年はれ兎ゝま也

文久二年戌十二月九日
長橋殿より別段御乞それ御祝はくわしのお本へ
一御上親王殿准后殿は
を本物　五切つゝ
數物　三つゝ
こんぬ　女中一同は

一を本物　七
數物　五
こんぬ　兩役人しゆえ
一を本物　七切
數物　五　手習三番所え
一を本物　百切
數物　百
御すゝ李宮さ二面ニ入れこんぬハ御すゝ雲宮さニ兩役のしゆ近習御一所ニ入れて出ス
、御詰非藏人は
一大乃ん　三十

みつらん　三十
　附武家に
さな物　十六切
数物　十
こんぶ出ス
　長橋さまの局に
参り居は取次に
さな物　七切
数物　八ッ
こんぶは廻し申候
ふもんらけ乃おなえ　伊豫さまゟ
一御所は表向
　黒無地一もん匣　一

は内ゝ
白乃きへ二番匣　一
一親王さま准后さまえ
　小文こ一番　壹つゝ
　　大は乳の分
一御所は表向之乃しゆすおひ一筋は内ゝ一番白繪文匣一二番白繪文匣一
一親王さま准后さまえ黒無地一もん文匣二は兒さま分
一御所は黒無一もんは文匣一は内ゝ白乃きへ二もんは文匣壹
一親王さま准后さまえ小文こ一もん白乃きへ二
　　二月廿五日
一親王さまえ天神掛上ればおなへ大すきさま
一　小尺文これ内ふとんにおもしぬはとりはゑもこ入一組は盃二枚
　　はそちれすきさま

一小文の内に赤地嶋しゆはおもしはさかつき二枚
　宰相のすけ殿
一赤地嶋しゆすおもしてん中對一組并壹つ盃二枚
　別當典侍殿
一　赤地嶋しゆすおもしぬいとりなでこ入一組
　新すけ殿
一かけこ附小文こ之内ニ紫染おもしてん中も三ツは人形一ツ
　おくは殿
一小文匣の内ニ細工かミ入三まんちやく壹は盃一枚毛うへのいぬ壹
是ハ文久元年の二月天神掛之
一葵のは神事今晩よりはきいさんニ付手あし多くしや出され
一敏宮殿未刻ころは下りの所何かと〳〵おそく成り〳〵酉半刻ころは下

りはよせさかな一折五種外ニ一番は文この内ニいさ〆一反は附帯一す
しきんしかミ入一ツぬいとりはなでこ入二組并計三男なでこ入二組
かせまかんさし二本平うち二本はくし三枚は盃三枚は人形壹入まいん
その〳〵

廿三日

一敏宮殿えは下り中宮様機嫌伺に大すき殿もしめかはよせさかな一折上
る
一夕かたは別殿ニてはすゝみ所に出御成は盃は三献乃いるはもいそん大
すき殿は所勞ニて大史のすけ殿は手長なかもし殿役なういよ殿なるに
さしつかへニてはは下り大はち致い
一今よひは丸火ニては内侍所えはすゝ参るは初尾白銀一枚参るは行水はく
しのは湯召

廿四日